

武豊町学校施設長寿命化計画

【令和 2（2020）年度～令和 41（2059）年度】

令和 2（2020）年 3 月 策定

令和 7（2025）年 3 月 改定

武豊町教育委員会

目 次

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
1. 背景	1
2. 目的	1
3. 計画期間と計画の位置づけ	2
4. 対象施設	2
第2章 学校施設の目指すべき姿	3
第3章 学校施設の実態	4
1. 学校施設の運営状況・活用状況等の実態	4
(1) 対象施設一覧	4
(2) 児童生徒数及び学級数の変化	5
(3) 学校施設の配置状況	16
(4) 施設関連経費の推移	17
(5) 学校施設の保有量	18
(6) 学校施設のバリアフリーへの対応状況	19
(7) 今後の維持・更新コスト（従来型）	20
2. 学校施設の老朽化状況の実態	21
(1) 構造躯体の健全性の評価	21
(2) 構造躯体以外の劣化状況等の評価	22
(3) 今後の維持・更新コストの把握（長寿命化型）	29
第4章 学校施設整備の基本的な方針等	30
1. 学校施設の規模・配置計画等の方針	30
(1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針	30
(2) 学校施設の規模・配置計画等の方針	31
2. 改修等の基本的な方針	32
(1) 長寿命化の方針	32
(2) 目標使用年数、改修周期の設定	32
(3) その他、個別課題への対応	32
第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	35
1. 改修等の整備水準	35
2. 維持管理の項目・手法等	35
第6章 長寿命化の実施計画	37
1. 改修等の優先順位付けと実施計画	37
(1) 改修等の優先順位付け	37
(2) 実施計画（今後3年間）	37
2. 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果	38
第7章 長寿命化計画の継続的運用方針	39
1. 情報基盤の整備と活用	39
2. 推進体制等の整備	39
3. フォローアップ	39

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

1. 背景

我が国では、人口減少や少子高齢社会による課題に加えて、厳しい財政状況が続く中、高度成長期に整備されてきた公共施設及びインフラ資産の老朽化対策が大きな課題となっています。

また、学校施設は未来を担うこどもたちが学び、生活する場であり、災害時には地域の防災拠点としても重要な役割を担っています。このような中で、本町の学校施設は、昭和40年代後半から50年代にかけて建設されたものが多く、老朽化が進んでおり、その対策は重要な課題であります。

さらに、学校施設は町が管理する建築物全体の約45%を占め、将来多額の修繕・改修費用が見込まれ、財源的に非常に厳しい状況になることが予想されます。

本町の総人口については、令和2（2020）年頃をピークに減少してきており、地区によって人口の動向や少子・高齢化の進行状況が異なっていることから、地区の特性に応じた、公共施設等の適正な配置、更新、管理が必要です。

このような中で、平成25（2013）年11月に策定された「インフラ長寿命化基本計画」（国土交通省）において、令和2（2020）年度までに個別施設ごとの長寿命化計画の策定が必要とされたことを踏まえ、学校施設を対象として、整備内容や時期、費用等を具体的に示す「学校施設長寿命化計画」を令和2（2020）年3月に策定しました。

本計画は策定後5年となることから、学校施設の状況等を踏まえて改定を行うこととなりました。

2. 目的

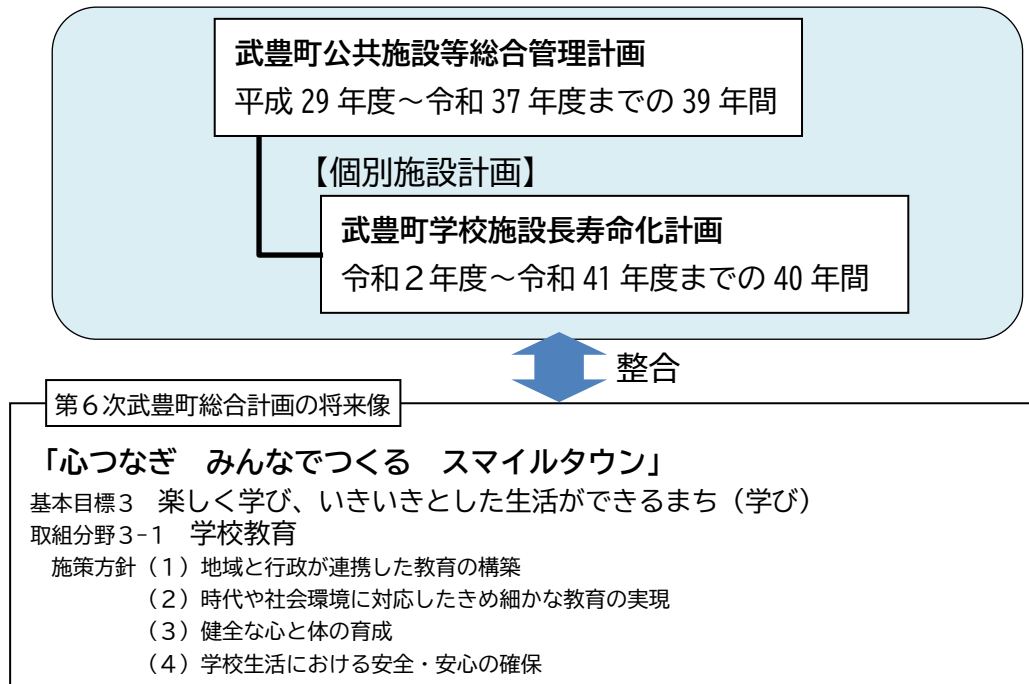
本町の学校施設について、上記の背景や上位計画となる武豊町公共施設等総合管理計画を踏まえ、総合的な観点から、長寿命化できるものは長寿命化し、中長期的な財政負担の低減及び平準化を図り、今後の学校施設の維持管理・更新等を着実に推進するとともに、学校施設に求められる機能・性能を確保することを目的とします。

3. 計画期間と計画の位置づけ

本計画は、武豊町公共施設等総合管理計画に基づく、学校施設の個別施設計画として位置づけ、実施期間を令和 2（2020）年度から令和 41（2059）年度までの 40 年間とします。

また、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、PDCA サイクルによる実行システムを構築した上で、計画を 5 年ごとに見直すものとします。

図表 計画の位置づけ



4. 対象施設

本計画の対象施設は、学校教育施設である小学校 4 校、中学校 2 校とします。

学校	
小学校	4校
中学校	2校

番号	分類	学校名	学校所在地
1	小学校	武豊小学校	高野前 1 番地
2		衣浦小学校	目堀 36 番地
3		富貴小学校	富貴字郷南 79 番地
4		緑丘小学校	長宗一丁目 1 番地
5	中学校	武豊中学校	中根四丁目 5 番地
6		富貴中学校	東大高字熊野西 8 番地

第2章 学校施設の目指すべき姿

「第6次武豊町総合計画」における学校教育の施策方針を踏まえ、「学校施設整備基本構想の在り方について」（学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議※、平成 25（2013）年 3 月）を参考として、本町における学校施設の目指すべき姿を以下のように設定します。

※学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議

大学教授や日本 PTA 全国協議会副会長、学校長等を委員とし、近年の社会変化に対応するため、今後の学校施設の在り方及び指針の策定に関する調査研究を行う。

【安全性】安全安心に過ごせる施設環境の整備

- 計画的に学校施設の整備修繕を実施し、児童生徒が安全安心に過ごせるよう学校教育環境を整備します。
- 児童生徒が安心して学校生活を送れるよう防犯・防災対策を講じるとともに、ユニバーサルデザイン化を図ります。
- 一人ひとりのこどもが安心して楽しい学校生活を送るために、障がいのあるこどもに配慮した学校施設を整備します。
- 避難所としての役割を果たすために、要配慮者を想定したバリアフリー対策の整備を進めます。

【快適性】環境衛生や教職員に配慮した施設環境の整備

- 生活様式等を踏まえ、トイレの改修を引き続き推進します。
- 校舎の維持・改修、新增築において、日照や採光、通風等に配慮します。
- 教職員等の事務負担軽減等のため、職員室等の ICT 環境を整備します。
- 大規模改修の際には断熱化や日射遮蔽等の建物性能の向上を図るとともに、照明等の設備機器の高効率化を図ります。

【学習活動への適応性】健全な心と体の育成を進めるための学習環境の整備

- 自ら考え行動できる「主体的に生きるこども」を育てることができるよう、主体性を養う空間の充実を図ります。
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現といった「令和の日本型学校教育」を構築する、柔軟で創造的な学習空間の整備を推進します。
- 地域の状況を十分に踏まえ、地域資源を生かした教育を行うための環境を整備します。

【地域の拠点化】地域とともにある学校としての施設整備

- 「地域のこどもを地域の大人が育てる」ことを主軸に、地域とともにある学校としての施設整備を進めます。

第3章 学校施設の実態

1. 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(1) 対象施設一覧

小学校、中学校の各学校施設の建物と土地の概要は、下表のとおりです。

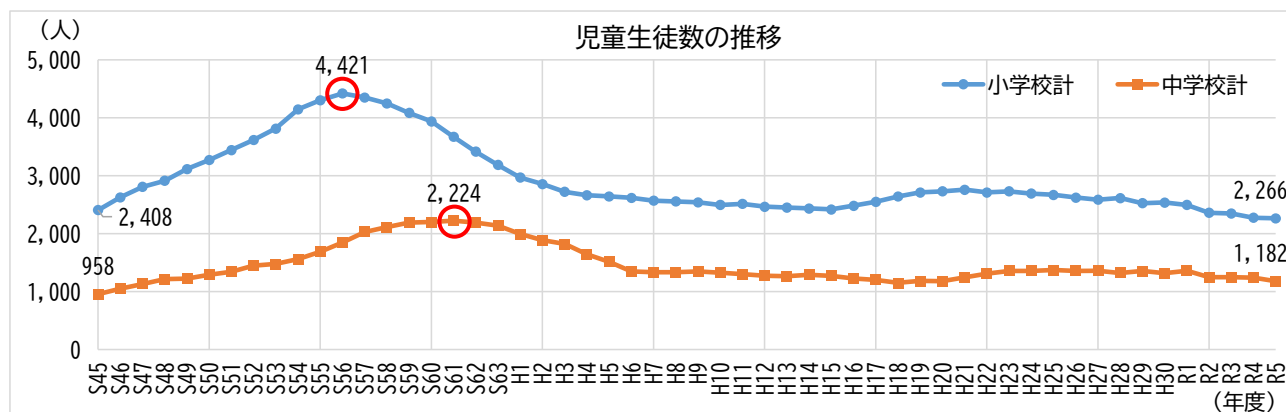
施設名	建物					土地面積	利用 容積率
	用途	建築年度	構造	延床面積	合計		
武豊 小学校	校舎	S48・49	RC 造	4,308 m ²	10,382 m ²	32,007 m ²	31%
		H19	RC 造	4,402 m ²			
	体育館ほか その他	S49	RC 造	335 m ²			
		S54	RC 造	1,159 m ²			
		S49	RC 造	122 m ²			
		H3・4	RC 造・S 造	56 m ²			
衣浦 小学校	校舎	S45	RC 造	5,792 m ²	8,368 m ²	31,529 m ²	38%
		S48	RC 造	547 m ²			
		S60	RC 造	642 m ²			
	体育館ほか その他	S46	RC 造・S 造	1,041 m ²			
		S45	RC 造	346 m ²			
富貴 小学校	校舎	S47・48	RC 造	2,392 m ²	7,158 m ²	21,239 m ²	30%
		S51	RC 造	1,845 m ²			
		H16	RC 造	1,595 m ²			
	体育館ほか	H24	RC 造	1,176 m ²			
		S48	RC 造	121 m ²			
	その他	S61	S 造	20 m ²			
		H24	S 造	9 m ²			
緑丘 小学校	校舎	S54	RC 造	6,359 m ²	8,188 m ²	27,641 m ²	34%
		H13	S 造	16 m ²			
		H20	S 造	41 m ²			
		H23	RC 造	513 m ²			
	体育館ほか その他	S55	RC 造	1,221 m ²			
		S58	RC 造	38 m ²			
		小学校 計					
武豊 中学校	校舎	S56	RC 造	2,168 m ²	11,789 m ²	39,553 m ²	34%
		H23	RC 造	6,779 m ²			
	体育館 武道場	S57	RC 造	1,871 m ²			
		S57	RC 造	812 m ²			
	その他	S56	RC 造	105 m ²			
		H3	S 造	54 m ²			
富貴 中学校	校舎	S47	RC 造	5,745 m ²	9,559 m ²	37,963 m ²	40%
		S58・59	RC 造	1,802 m ²			
	体育館 武道場	S47	RC 造	1,130 m ²			
		S58	RC 造	787 m ²			
	その他	S47	RC 造	28 m ²			
		S56	S 造	18 m ²			
		S63	S 造	49 m ²			
中学校 計					21,348 m ²	77,516 m ²	36%
小・中学校 合計					55,444 m ²	188,932 m ²	34%

(2) 児童生徒数及び学級数の変化

(ア) 長期的な児童数・生徒数の推移

本町の小学校児童数は、昭和 56（1981）年度をピークに減少し、平成 3（1991）年度以降は 2,500 人程度で横ばいとなっています。また、中学校生徒数は、昭和 61（1986）年度をピークに減少し、平成 6（1994）年度以降は 1,300 人程度で横ばいとなっています。

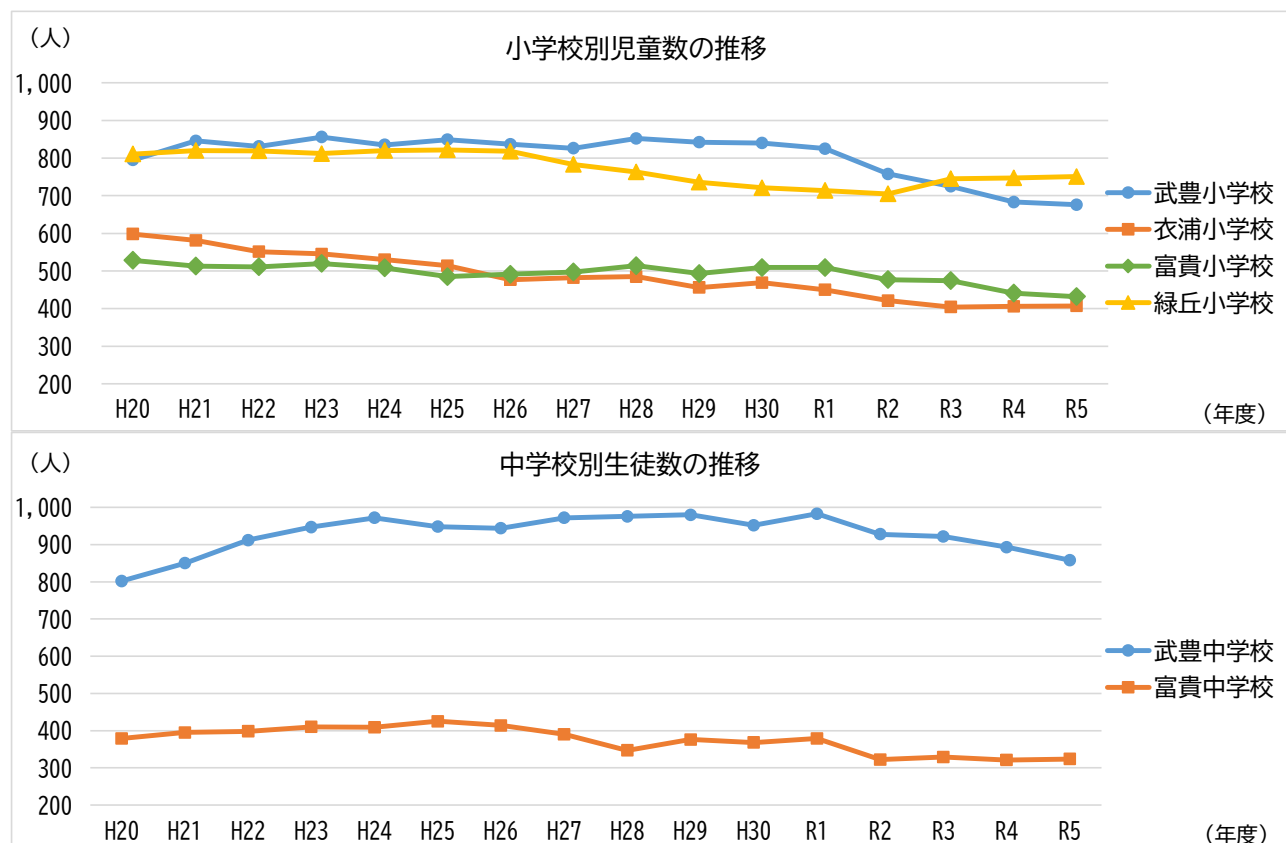
（各年 5 月 1 日時点）



(イ) 近年の学校別児童生徒数の推移

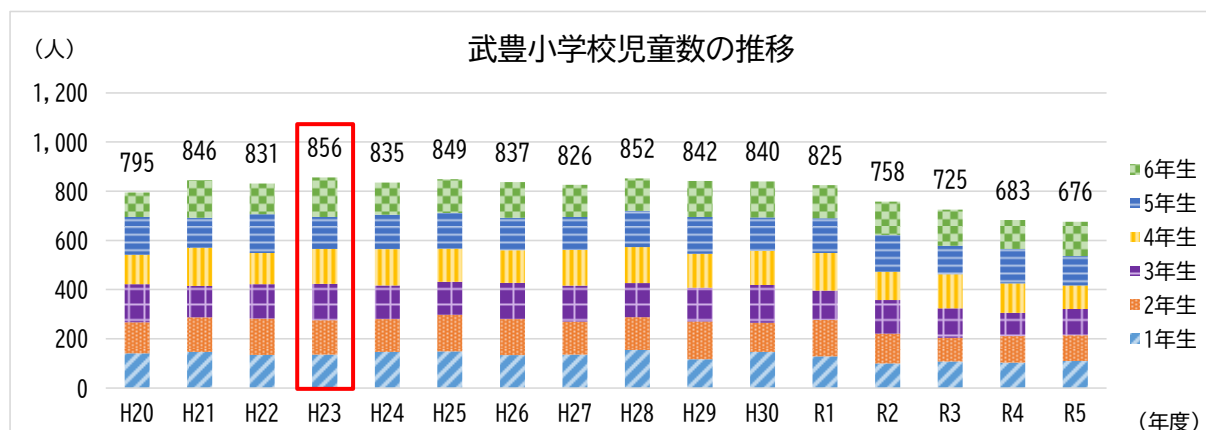
平成 20（2008）年度以降の児童生徒数の推移を学校別にみると、小学校では、武豊小、衣浦小、富貴小で微減していますが、緑丘小では令和 2（2020）年度以降、増加傾向にあります。中学校では富貴中では令和 2（2020）年度以降、ほぼ横ばいで推移していますが、武豊中では令和 2（2020）年度以降、減少傾向にあります。

（各年 5 月 1 日時点）



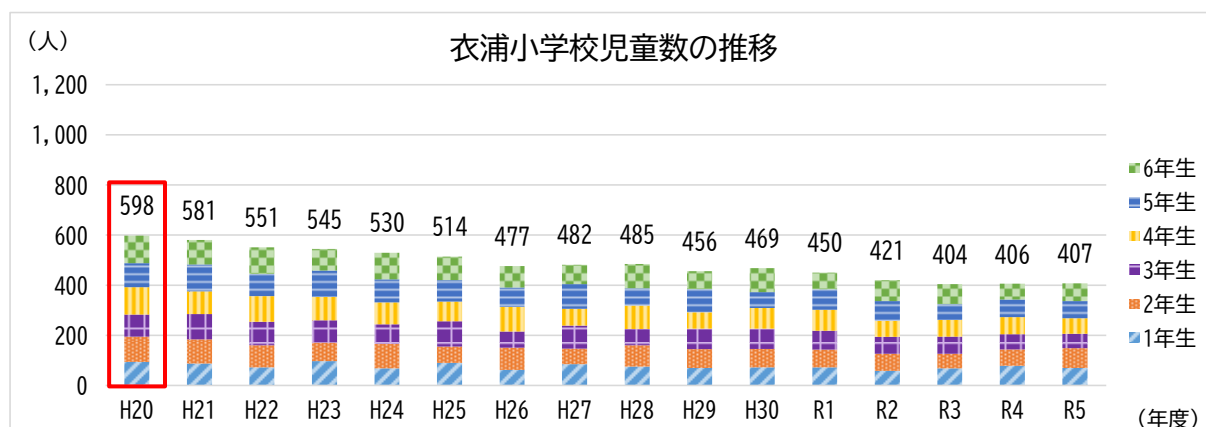
武豊小学校の児童数は平成 23（2011）年度の 856 人が最大で、その後横ばいに推移していましたが、平成 28（2016）年度以降減少傾向にあり、令和 5（2023）年度では 676 人となっています。

（各年 5 月 1 日時点）



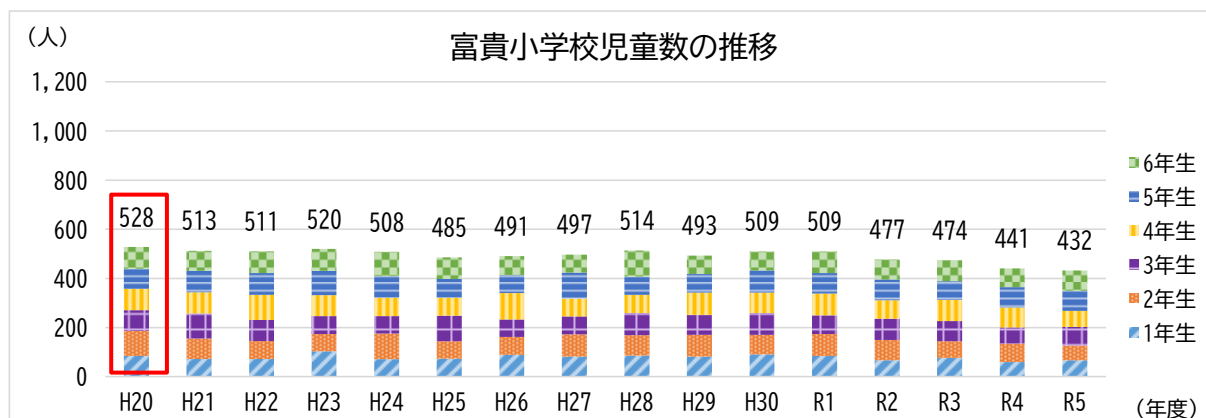
衣浦小学校の児童数は、平成 20（2008）年度の 598 人をピークに減少傾向にあり、令和 5（2023）年度では 407 人となっています。

（各年 5 月 1 日時点）



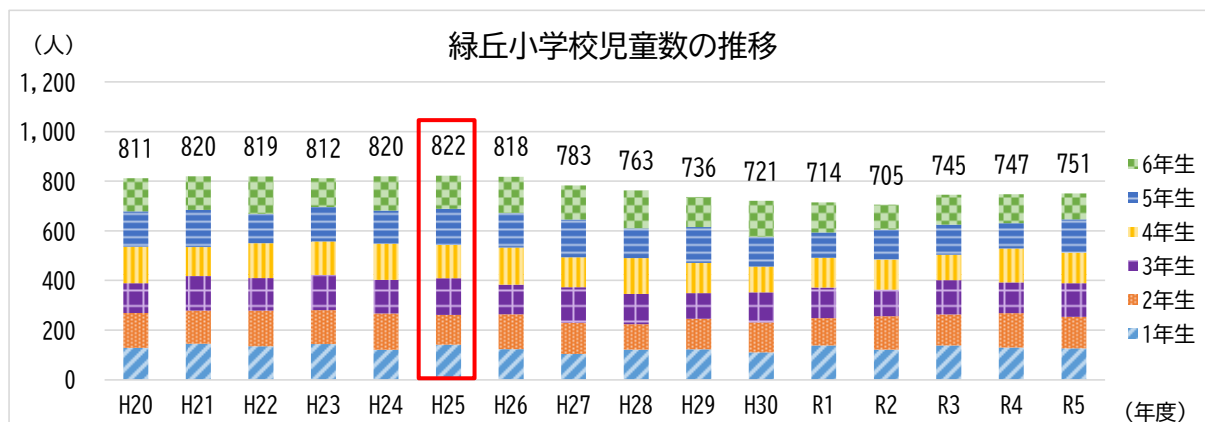
富貴小学校の児童数は、平成 20（2008）年度の 528 人が最大で、その後横ばいに推移していましたが、令和元（2019）年度以降減少傾向にあり、令和 5（2023）年度では 432 人となっています。

（各年 5 月 1 日時点）



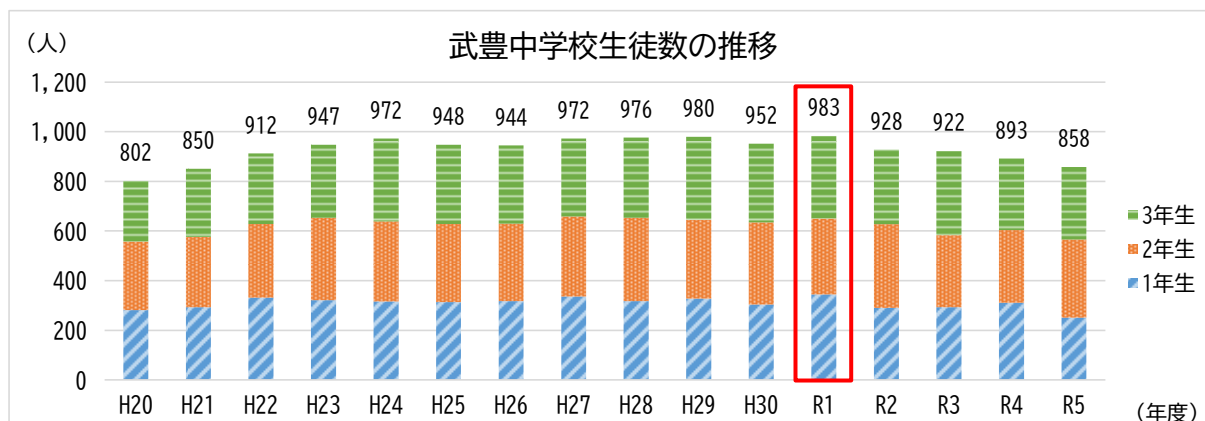
緑丘小学校の児童数は、平成 25（2013）年度の 822 人が最大で、年によって増減しており、令和 5（2023）年度では 751 人となっています。

（各年 5 月 1 日時点）



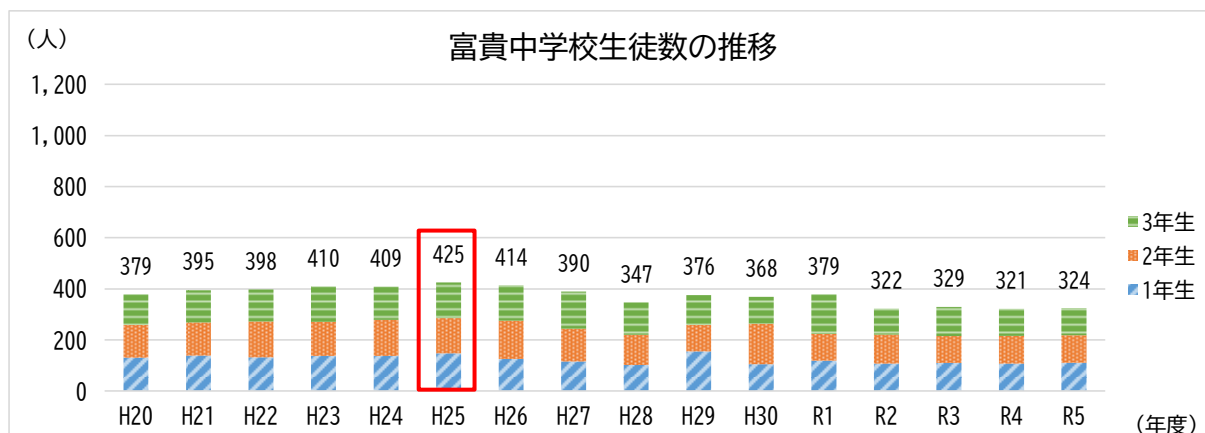
武豊中学校の生徒数は、令和元(2019)年度の 983 人をピークに減少傾向にあり、令和 5（2023）年度では 858 人となっています。

（各年 5 月 1 日時点）



富貴中学校の生徒数は、平成 25(2013)年度の 425 人をピークに減少傾向にあり、令和 5（2023）年度では 324 人となっています。

（各年 5 月 1 日時点）

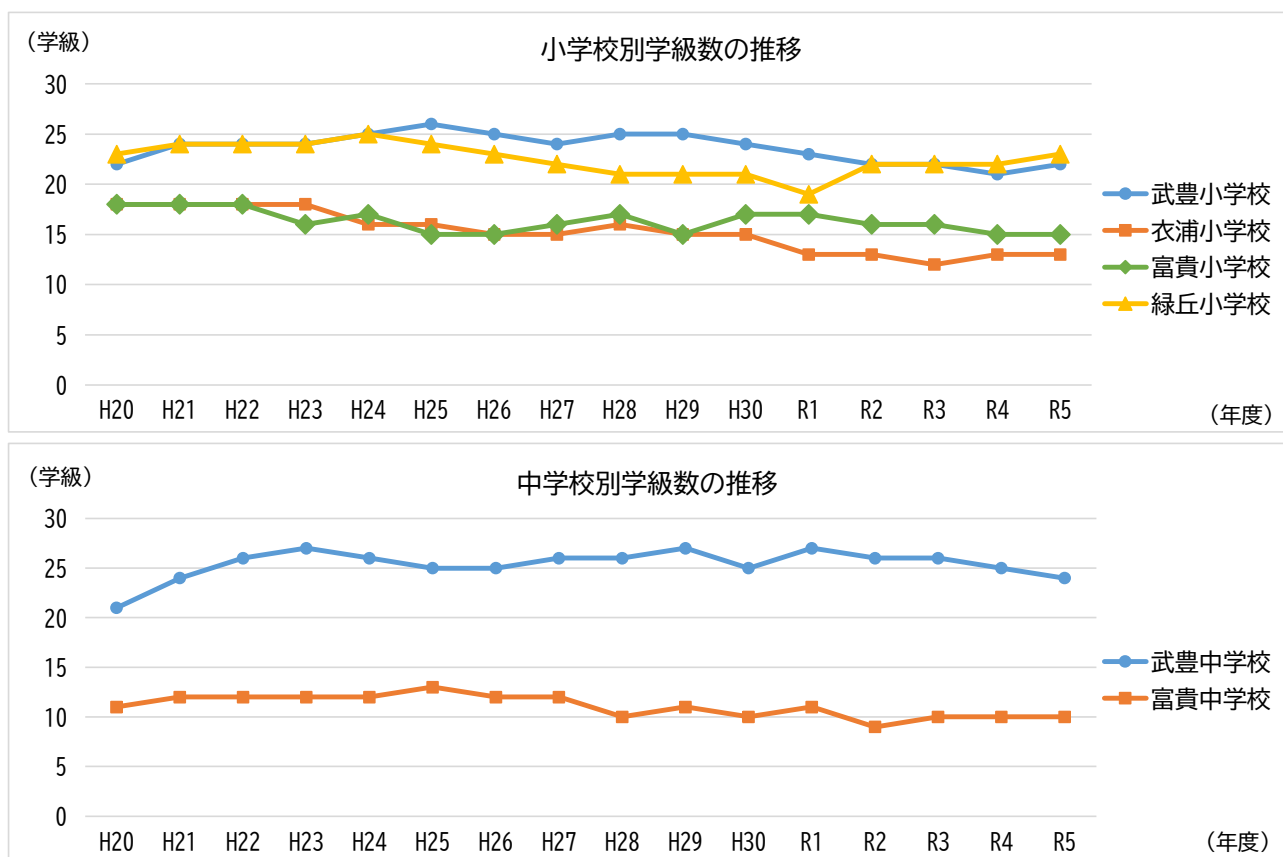


(ウ)近年の学校別の学級数の推移

平成 20（2008）年度以降の学級数の推移を学校別にみると、小学校では、武豊小、衣浦小、富貴小が微減しているのに対し、緑丘小は令和元（2019）年度以降増加しています。中学校では武豊中、富貴中のいずれにおいてもほぼ横ばいに推移しています。

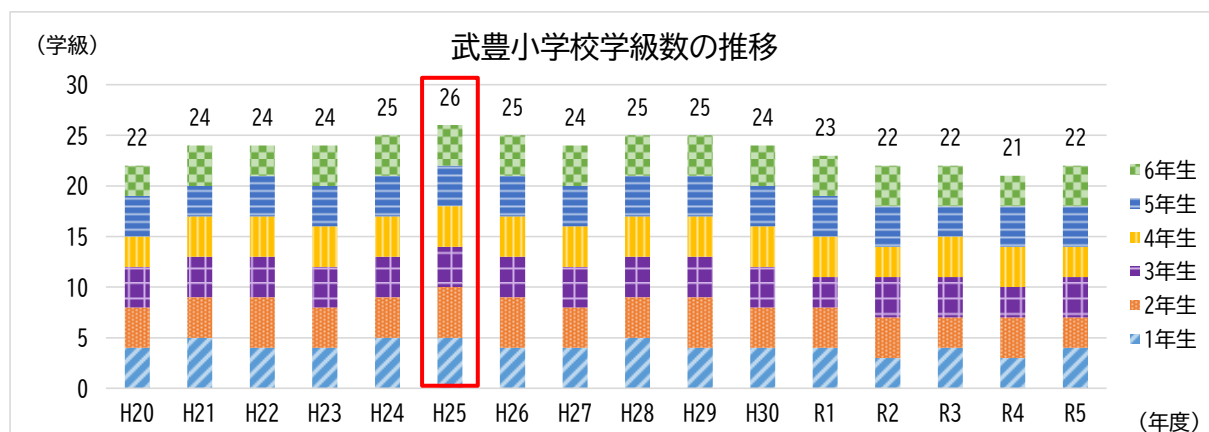
なお、特別支援学級は児童生徒一人ひとりに合わせた適切な指導を行う必要があることから学級数としては一定ではないため、以下で示す学級数には特別支援学級は含まず通常の学級のみの推移とします。

（各年 5 月 1 日時点）



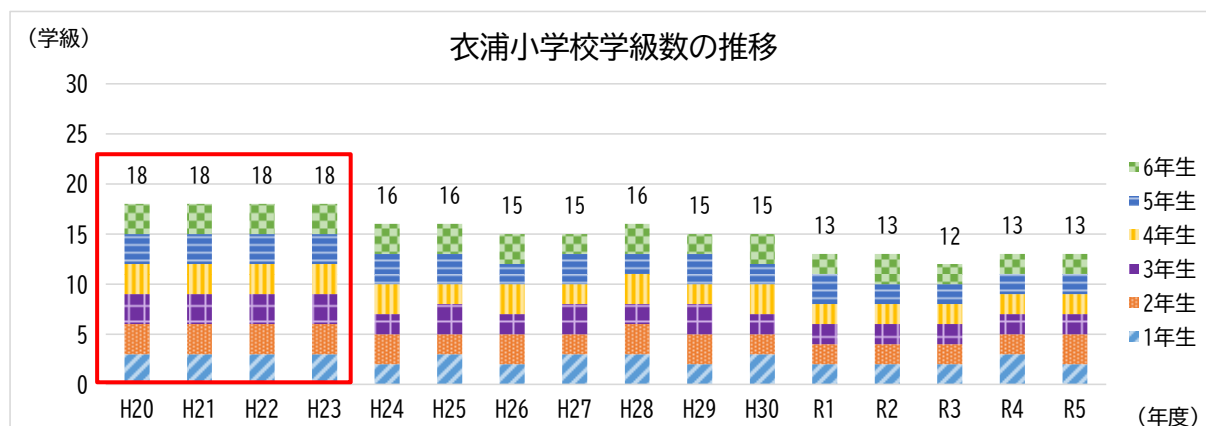
武豊小学校の学級数は平成 25（2013）年度の 26 クラスが最大で、年によって増減しているものの、平成 29（2017）年度以降減少傾向にあり、令和 5（2023）年度では 22 クラスとなっています。

（各年 5 月 1 日時点）



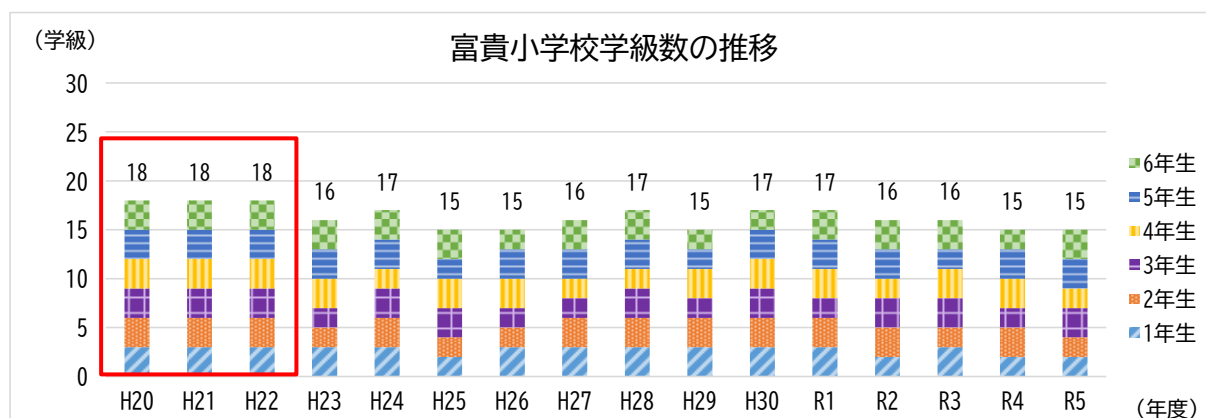
衣浦小学校の学級数は、平成 20（2008）～23（2011）年度の 18 クラスをピークに減少傾向にあります。令和元（2019）年度以降は 13 クラスとほぼ横ばいに推移しています。

（各年 5 月 1 日時点）



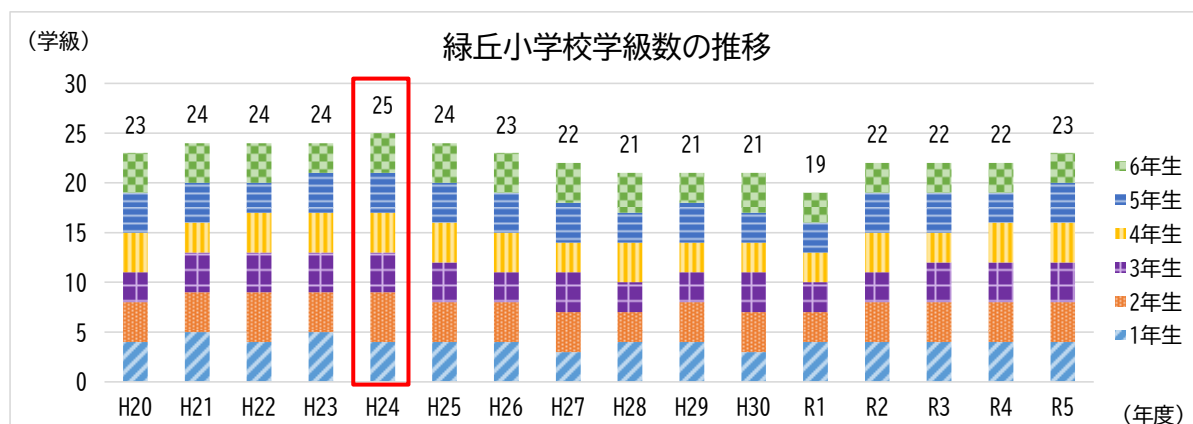
富貴小学校の学級数は、平成 20（2008）～22（2010）年度の 18 クラスが最大で、年によって増減しているものの、令和元（2019）年度以降微減しており、令和 5（2023）年度は 15 クラスとなっています。

（各年 5 月 1 日時点）



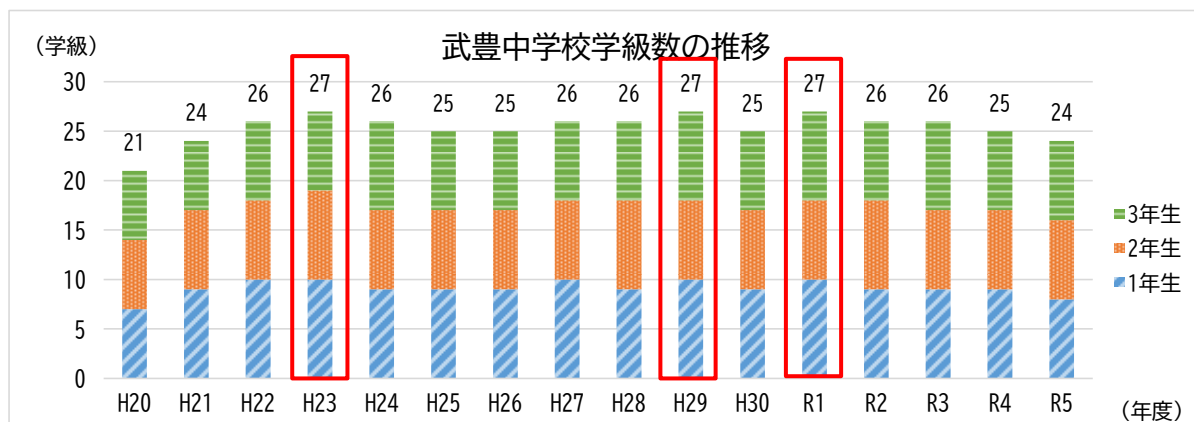
緑丘小学校の学級数は、平成 24（2012）年度の 25 クラスをピークに一時減少しましたが、令和元（2019）年度以降増加しており、令和 5（2023）年度は 23 クラスとなっています。

（各年 5 月 1 日時点）



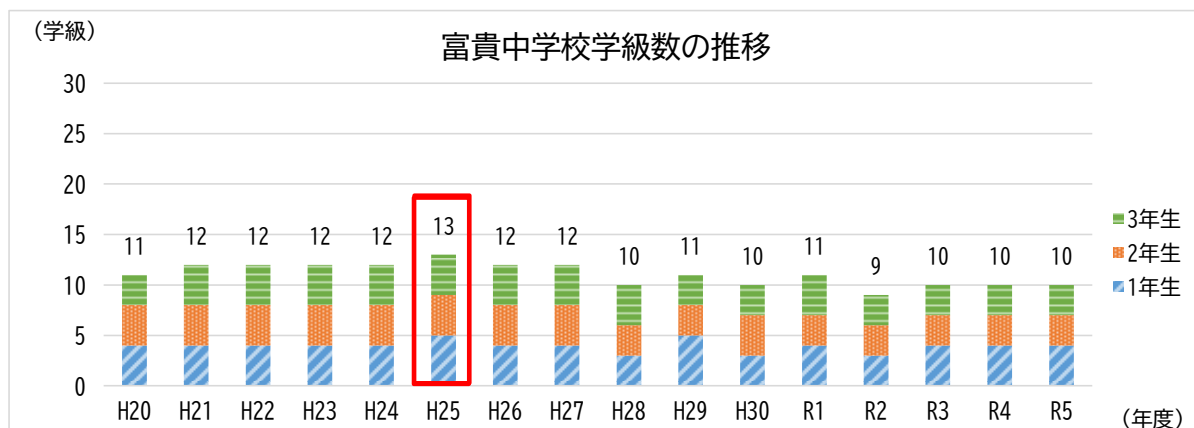
武豊中学校の学級数は、年によって増減はあるものの、令和元（2019）年度以降減少傾向にあり、令和5（2023）年度は24クラスとなっています。

（各年5月1日時点）



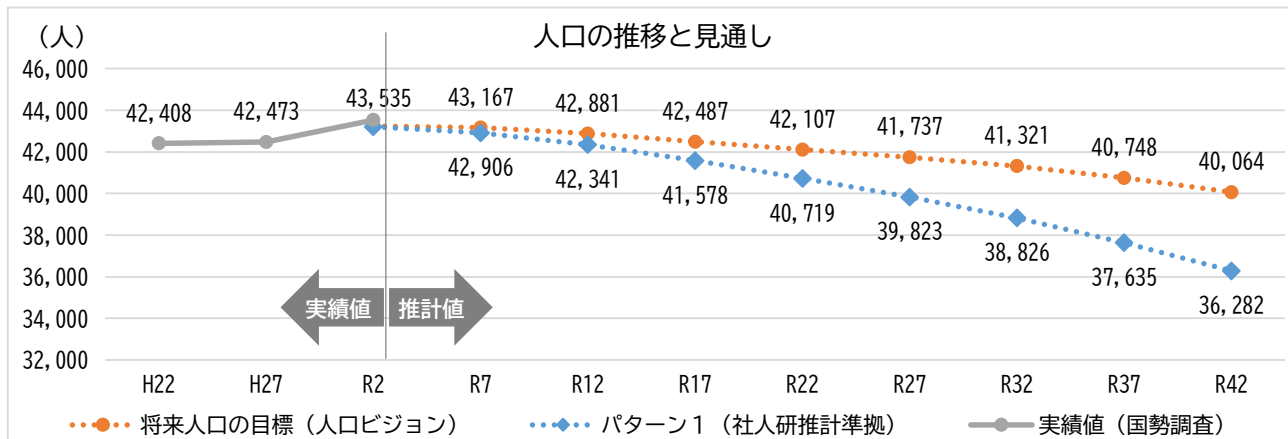
富貴中学校の学級数は、平成20（2008）～27（2015）年度は12クラス前後で推移してきましたが、平成28（2016）年度以降は10クラス前後で推移しています。

（各年5月1日時点）



(エ) 人口と児童生徒数の見通し

武豊町人口ビジョン(平成 27(2015)年 10 月公表)によると、本町の人口は令和 2(2020)年頃をピークに減少し、国立社会保障・人口問題研究所による推計(社人研推計)に準拠した推計では、令和 42(2060)年には 36,282 人となるものと見込んでいます。住民、地域、企業、町等が協働で、若い世代の結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえるまちづくりに取り組むことを前提に、将来人口を推計すると本町の人口は令和 42(2060)年に 40,064 人となり、先述の社人研に準拠した推計(36,282 人)に比べて減少が大幅に縮小しています。



出典：(実績値) 国勢調査、(推計値) 武豊町人口ビジョン

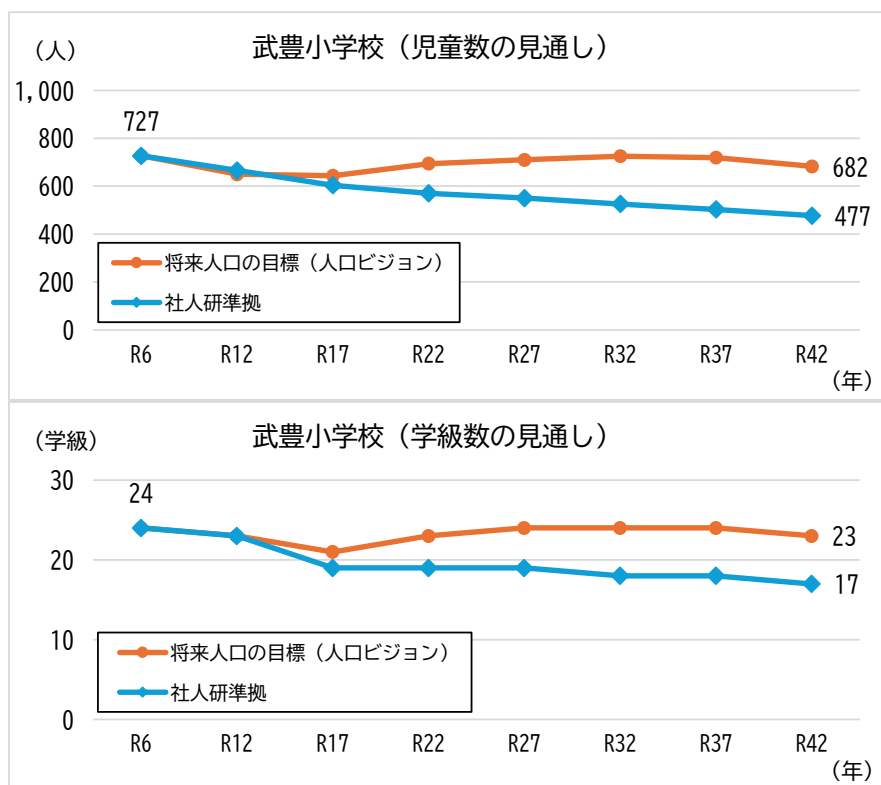
■推計方法

児童生徒数及び学級数を推計するにあたり、「武豊町人口ビジョン」及び「武豊町総合計画」と同様に国立社会保障・人口問題研究所において示されている数値を用いて算出しました。

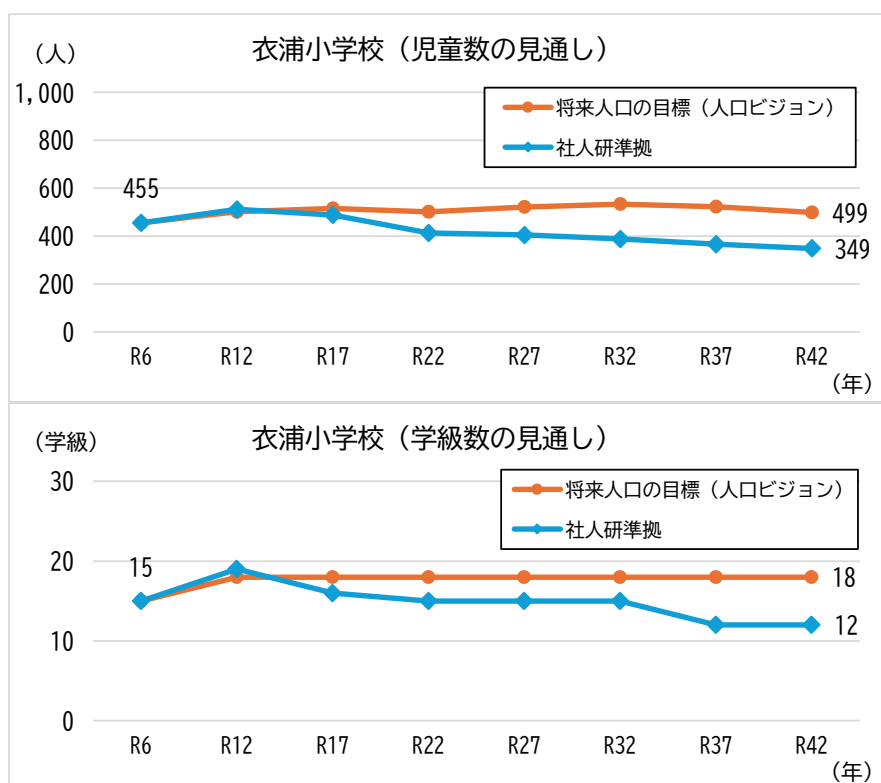
図表 推計方法の整理

	ケース1	ケース2
	将来人口の目標	社人研準拠
推計方法	コーホート要因法	
基準とするデータ	住民基本台帳データ（令和6（2024）年7月時点の数値を使用）	
推計する期間	令和6（2024）年から令和42（2060）年まで	
使用するデータ	【合計特殊出生率】 武豊町人口ビジョンにおいて将来人口の目標の推計に使用された合計特殊出生率を基に社人研の子ども女性比への換算率で除して子ども女性比を算出し、2029年以降の子ども女性比として使用 ※0～4歳性比、生存率、純移動率等については、武豊町人口ビジョンにおいて将来人口の目標の推計に利用された値を使用	国立社会保障・人口問題研究所において推計されている数値を基に換算係数を用いて算出 【合計特殊出生率】 2019年～2023年の5年間の平均を基に社人研の子ども女性比への換算率平均で除して子ども女性比を算出し、2029年以降の子ども女性比として使用 【純移動率】 近年10年間の純移動率の平均を算出し、2024→2029年の純移動率に使用 2034年以降は社人研により伸び率補正を行う ※0～4歳性比、生存率については社人研を基に5年間隔で年数補正を行う
児童生徒数	小・中学校の学区ごとに令和42年までの児童生徒数を算出する 小学生相当の人口を各学区の7～12歳、中学生相当の人口を13～15歳の人口と定義する	
学級数	学年ごとに算出した児童生徒数を基に、小学校は1学級35人、中学校は1学級40人という基準に基づき学級数を算出する	

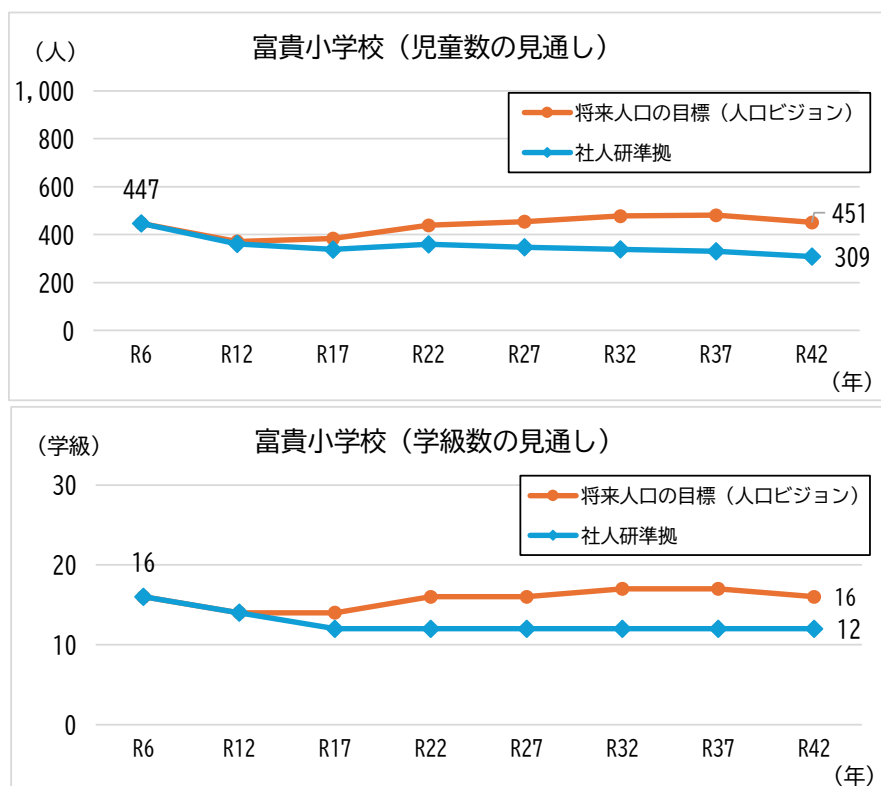
令和6（2024）年の児童数を基準とすると令和42（2060）年の武豊小学校の児童数は、将来人口の目標では9割程度となりますが、社人研準拠パターンでは6割程度に減少することが見込まれています。



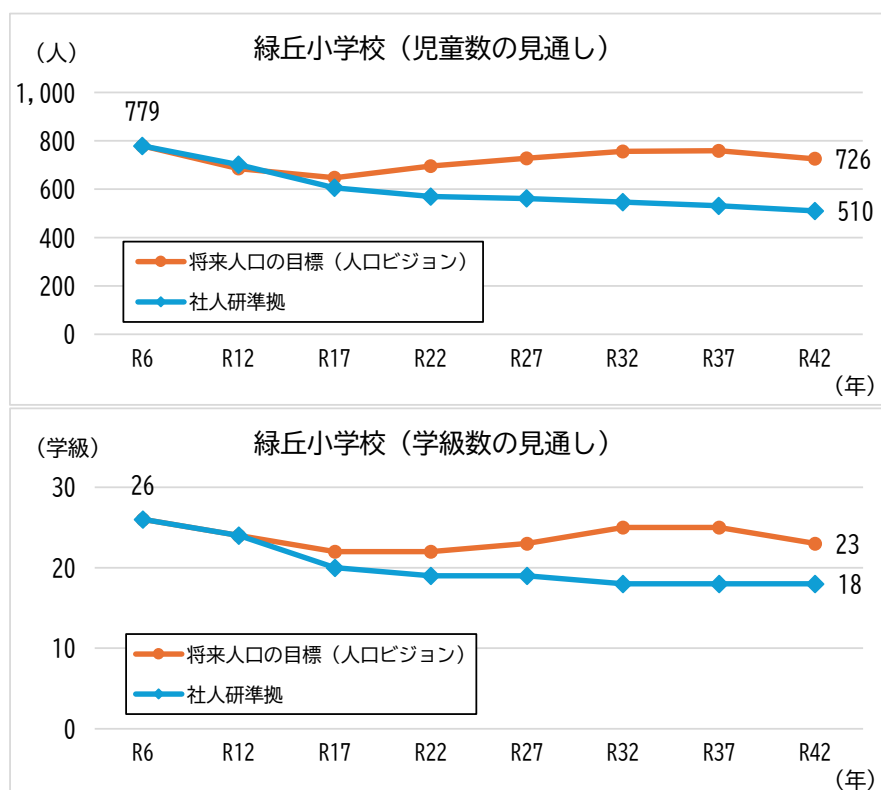
令和6（2024）年の児童数を基準とすると令和42（2060）年の衣浦小学校の児童数は、将来人口の目標では約1.1倍と増加していますが、社人研準拠パターンでは8割程度に減少することが見込まれています。



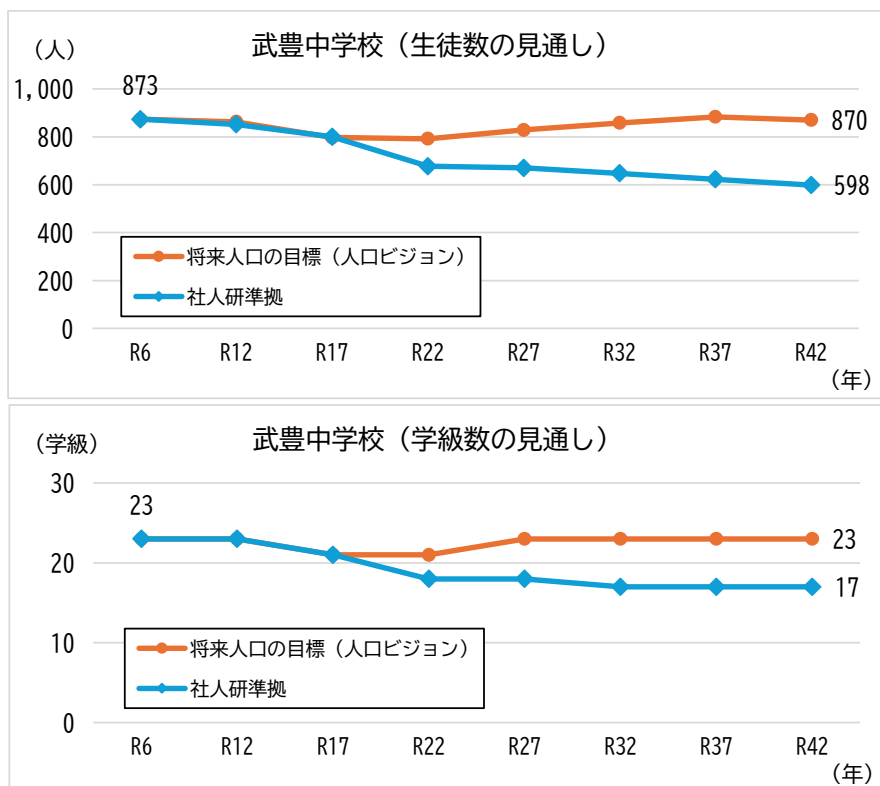
令和6（2024）年の児童数を基準とすると令和42（2060）年の富貴小学校の児童数は、将来人口の目標では維持されていますが、社人研準拠パターンでは7割程度に減少することが見込まれています。



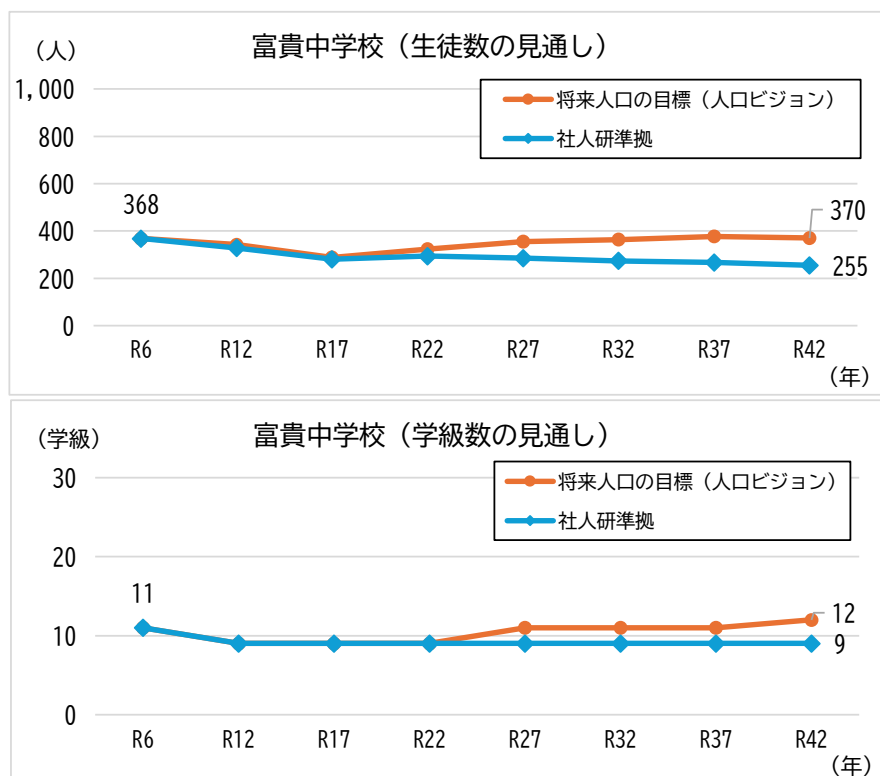
令和6（2024）年の児童数を基準とすると令和42（2060）年の緑丘小学校の児童数は、将来人口の目標では9割程度となりますが、社人研準拠パターンでは7割程度に減少することが見込まれています。



令和6（2024）年の生徒数を基準とすると令和42（2060）年の武豊中学校の生徒数は、将来人口の目標ではほぼ維持されていますが、社人研準拠パターンでは7割程度に減少することが見込まれています。

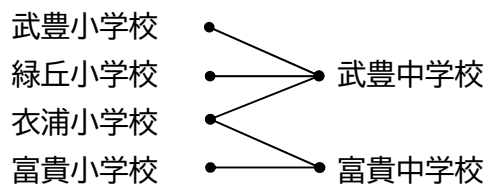


令和6（2024）年の生徒数を基準とすると令和42（2060）年の富貴中学校の生徒数は、将来人口の目標では維持されていますが、社人研準拠パターンでは7割程度に減少することが見込まれています。

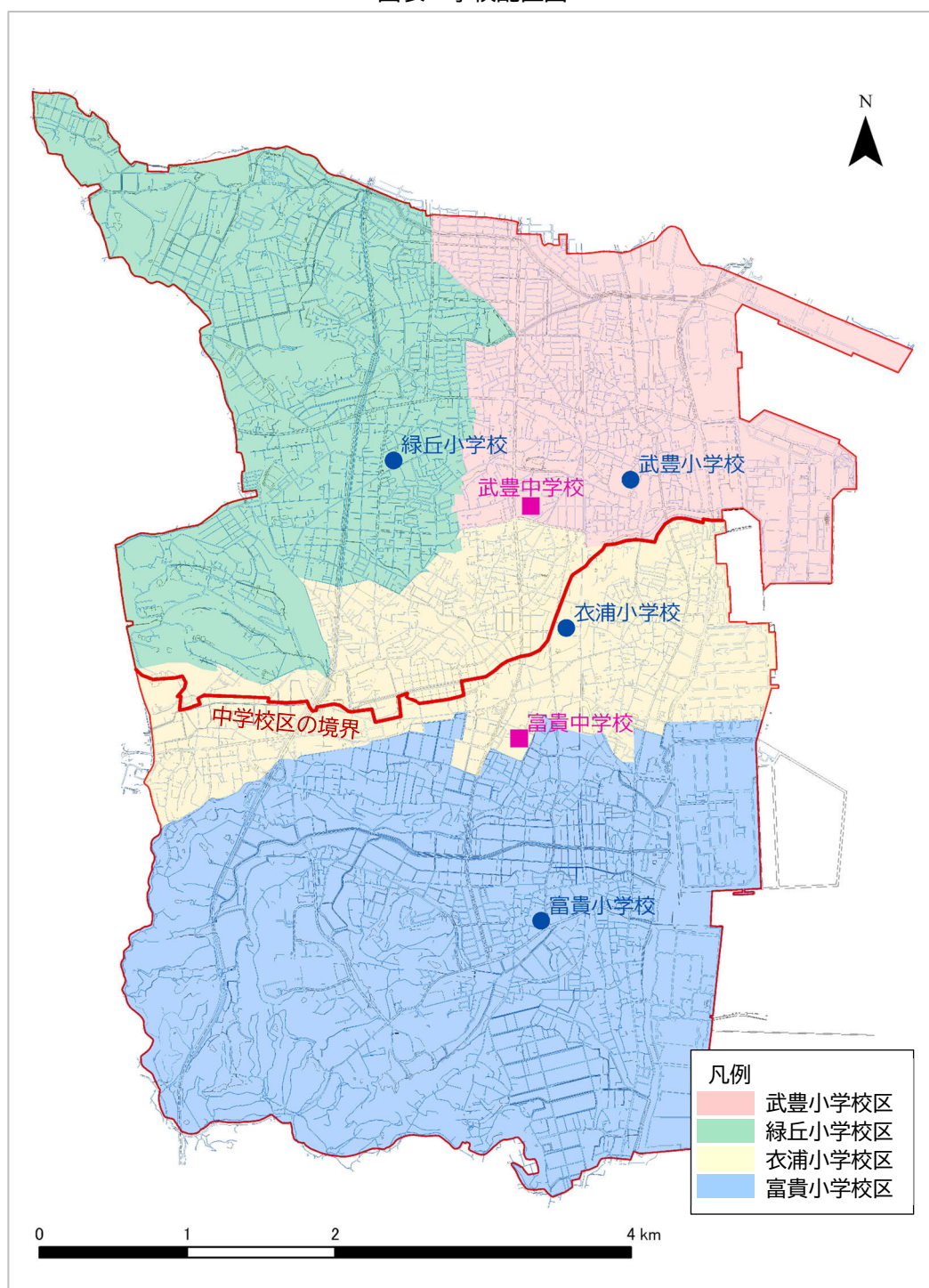


(3) 学校施設の配置状況

小学校4校、中学校2校の配置状況は下図のとおりです。学校区は、衣浦小学校区が武豊中学校区と富貴中学校区に分かれる状況となっています。



図表 学校配置図



(4) 施設関連経費の推移

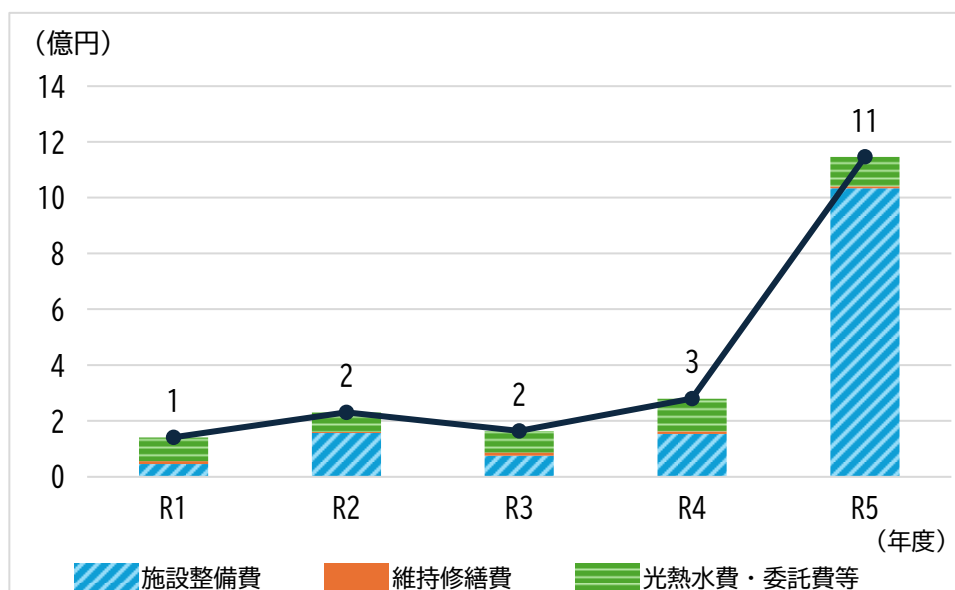
学校施設に係るコスト状況は以下のとおりです。

令和元（2019）年度から令和4（2022）年度の学校施設の施設関連経費は約 1.4～2.8 億円で、年平均で約 2.0 億円です。令和5（2023）年度は屋内運動場、武道場及び特別支援教室のエアコンの設置工事をまとめて実施したため、その他修繕等も含めると施設整備費が合計で約 10 億円かかっており、施設関連経費の合計が約 11 億円とコストが大きくなっています。光熱水費・委託費、維持管理費がほぼ同程度の金額で推移しているのに対し、施設整備費は年度によって大きな差が生じています。

図表 過去5年間の施設関連経費

(円)

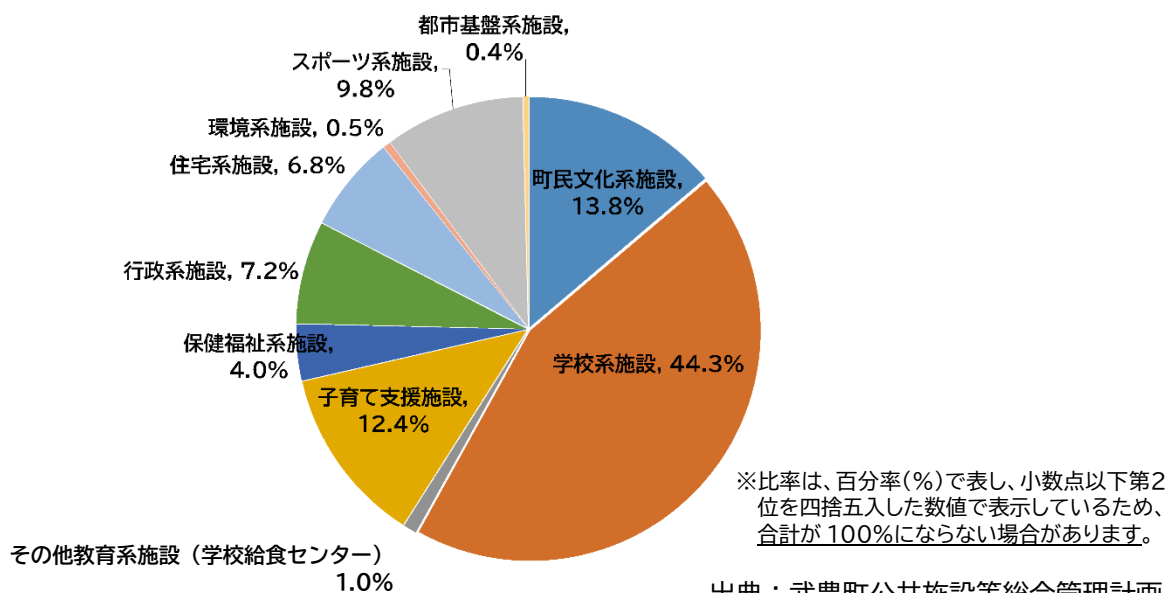
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設整備費	45,784,400	157,014,550	75,639,300	153,633,000	1,034,352,000
維持修繕費	9,643,910	2,852,069	11,408,320	8,578,331	6,483,198
光熱水費・委託費等	85,304,796	70,518,539	76,750,237	117,624,671	105,134,289
施設関連経費合計	140,733,106	230,385,158	163,797,857	279,836,002	1,145,969,487



(5) 学校施設の保有量

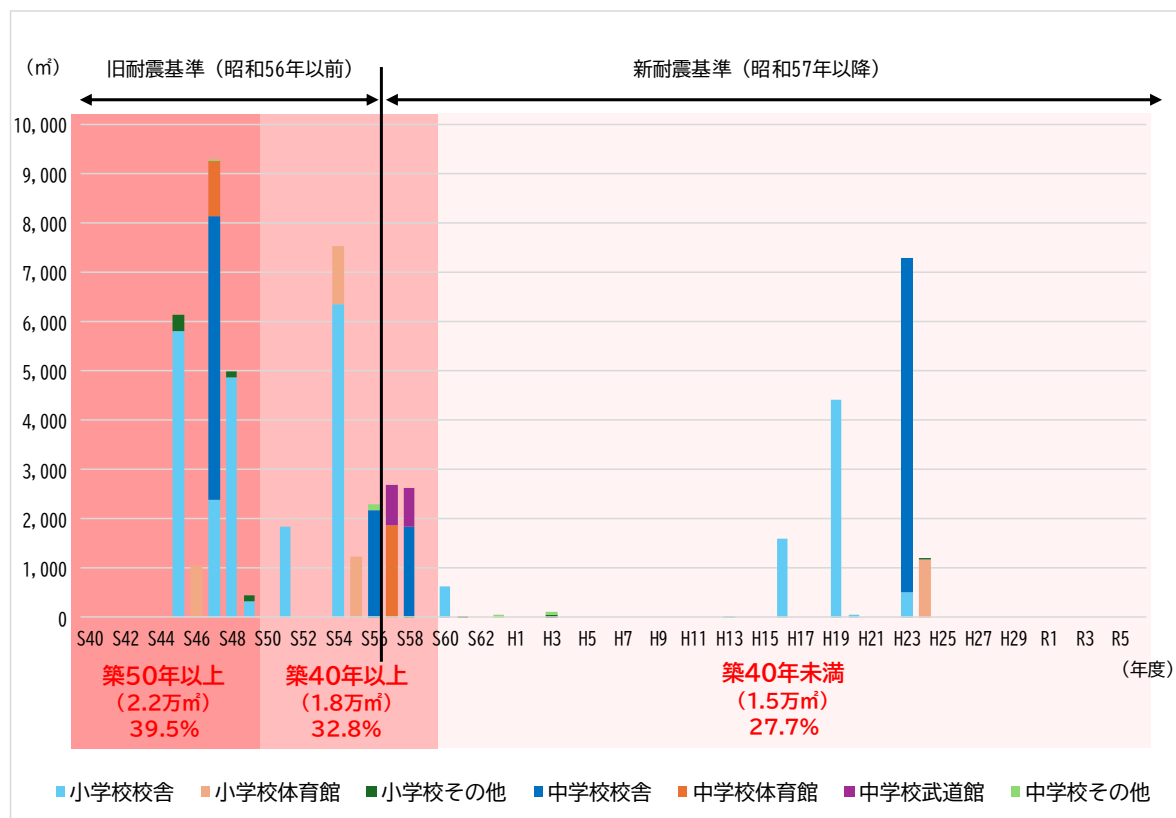
本町が保有する建築物系施設は、令和4（2022）年度末時点で、69 施設、195 棟、延床面積 128,846 ㎡となっています。うち、学校系施設が 44.3%と最も大きな割合を占めています。

図表 建築物系施設の分類別保有割合（延床面積）



本計画の対象とする学校施設は、築40年～築50年の建物が約1.8万㎡（32.8%）、築50年以上の建物が約2.2万㎡（39.5%）と老朽化が進んでいます。

図表 学校施設の築年別整備状況



(6) 学校施設のバリアフリーへの対応状況

バリアフリースイッチは、校舎では衣浦小学校以外で車椅子用トイレが整備されていますが、一方屋内運動場で車椅子用トイレが整備されている学校は富貴小学校のみとなっています。

また、スロープ等による段差解消は、門から建物の前までについては、衣浦小学校以外で校舎・屋内運動場ともにスロープ等により段差が解消されています。

昇降口・玄関等から教室等までについては、校舎では衣浦小学校・富貴小学校以外でスロープ等により段差が解消されています。一方で屋内運動場では富貴小学校・武豊中学校のみ段差が解消されています。

エレベーターは、校舎では武豊小学校・富貴小学校・武豊中学校の一部の校舎にエレベーターが設置されています。

図表 バリアフリーへの対応状況

		武豊小	緑丘小	衣浦小	富貴小	武豊中	富貴中	
バリアフリースイッチ※1		校舎	○	○	×	○	○	
		屋内運動場	×	×	×	○	×	×
スロープ等による 段差解消 ※2	門から建物の 前まで	校舎	○	○	×	○	○	
		屋内運動場	○	○	×	○	○	○
	昇降口・玄関 等から教室等 まで	校舎	○	○	×	×	○	○
		屋内運動場	×	×	×	○	○	×
エレベーター※3		校舎	○	×	×	○	○	×
		屋内運動場	×	×	×	×	×	×

= 令和7年度末までの整備目標(文部科学省) =

※1 バリアフリースイッチ : 避難所に指定されている全ての学校に整備する

※2 スロープによる段差解消 : 全ての学校に整備する

※3 エレベーター : 要配慮児童生徒等が在籍する全ての学校に整備する

段差が解消されていない渡り廊下



【衣浦小学校】渡り廊下

段差が解消されていない昇降口



【武豊小学校】昇降口

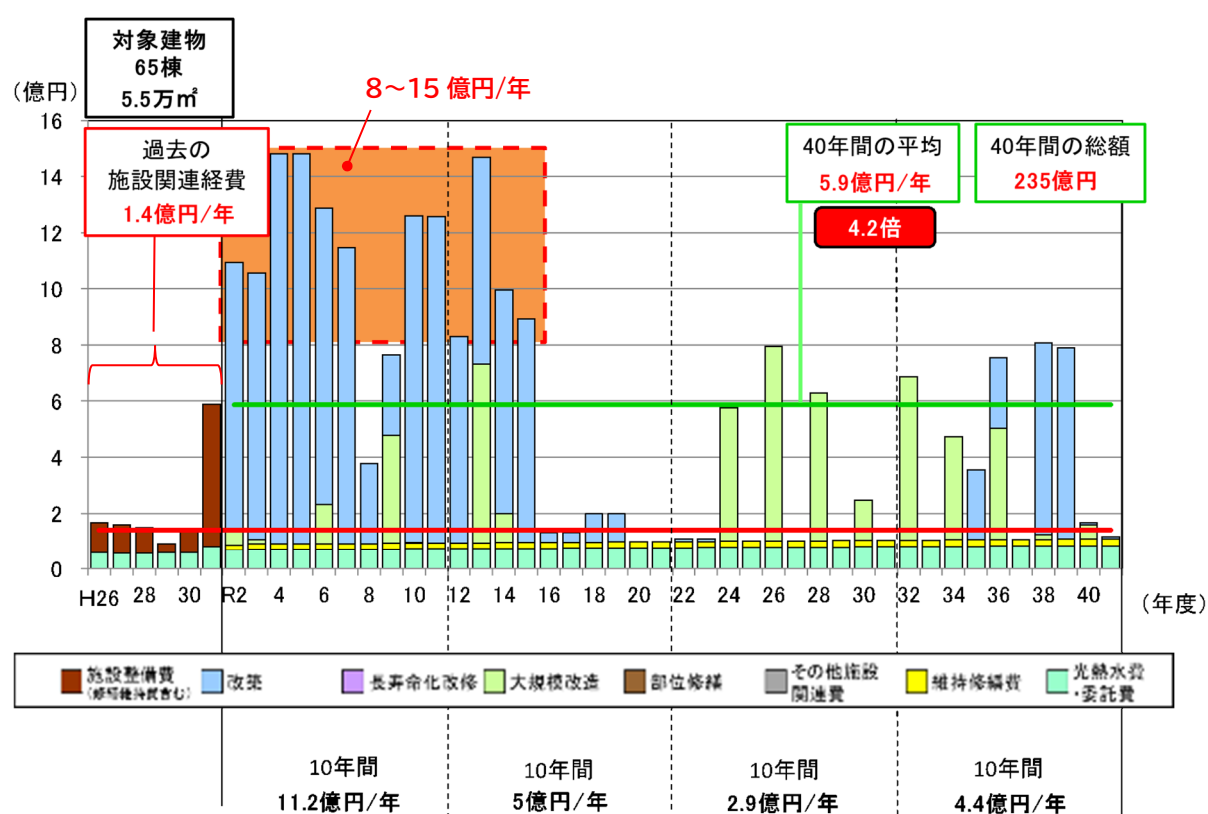
(7) 今後の維持・更新コスト(従来型)

本計画策定時の従来手法（改築周期 40 年、予防改修周期 20 年）で維持した場合に必要な維持・更新コストは以下のとおりです。

築 40 年で建替える従来の修繕・改修を今後も続けた場合、今後 40 年間のコストは 235 億円（5.9 億円/年）かかります。これは、平成 26（2014）年度から令和元（2019）年度の 6 年間の施設関連経費の平均 1.4 億円/年の 4.2 倍となります。特に令和 2（2020）年度から令和 7（2025）年度、令和 9（2027）年度から令和 15（2033）年度にかけては、8～15 億円/年もの投資が必要となります。

従って、従来の建替え中心の整備を継続することは困難であり、対策を検討する必要があります。

図表 今後の維持・更新コスト（従来型）



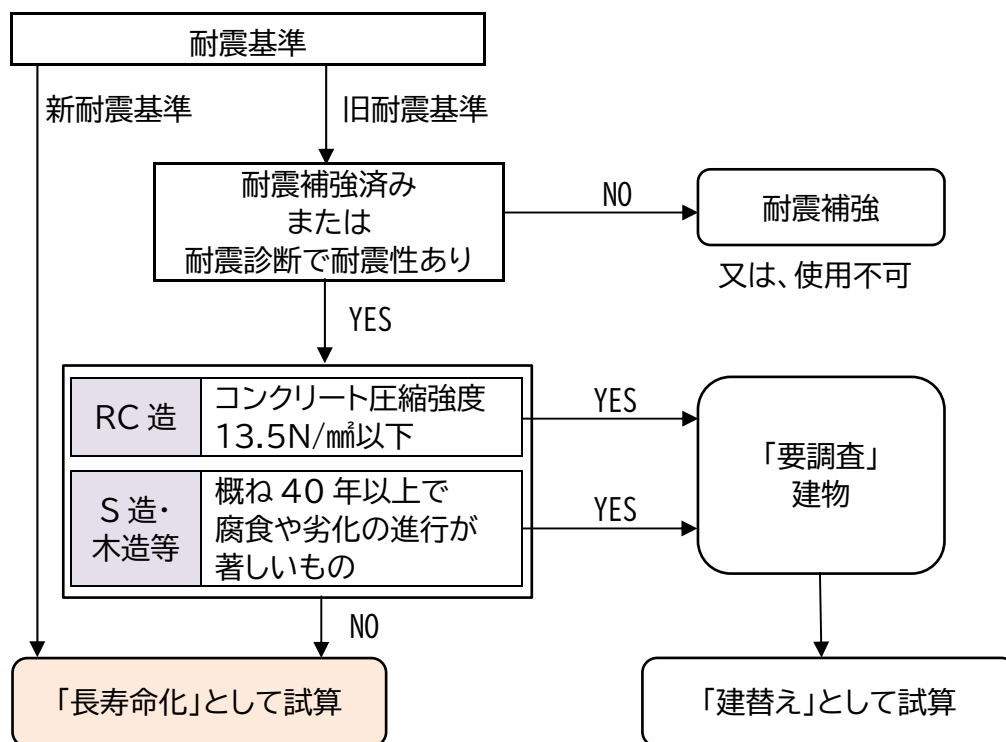
2. 学校施設の老朽化状況の実態

(1) 構造躯体の健全性の評価

(ア)調査・評価方法

構造躯体の健全性の評価については、まず、耐震安全性について評価し、新耐震基準のものは「長寿命化」とします。旧耐震基準のものでも耐震補強済みまたは耐震診断で耐震性のあるものについて、構造別に長寿命化判定を行います。RC造については、コンクリート圧縮強度が $13.5\text{N}/\text{mm}^2$ 以下のもの、S造、木造等については、概ね建築後40年以上で腐食の著しいものは「建替え」とし、それ以外のものは「長寿命化」とします。

■長寿命化の判定フロー



(イ)評価結果

本町の学校施設のうち、旧耐震基準の施設は耐震補強済みまたは、耐震診断で耐震性ありとなっています。RC造でコンクリート圧縮強度が $13.5\text{N}/\text{mm}^2$ 以下のもの、及びS造で、概ね建築後40年以上で腐食の著しいものはないことから、すべての学校施設を「長寿命化」と判定しました。

(2) 構造躯体以外の劣化状況等の評価

(ア)調査・評価方法

現地調査において作成した劣化状況調査票を用いて構造躯体以外の劣化状況を把握し、屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価します。

■評価基準

○目視による評価(屋根・屋上、外壁)

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に影響を与えている)等

○経過年数による評価

(内部仕上げ、電気設備、機械設備)

評価	基準
A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

(イ)健全度の算定

下表のように5つの部位の評価点と部位のコスト配分を定めて健全度を算定します。健全度は、数値が低いほど劣化が進んでいる状況を示す指標です。

■健全度の算定

$$\text{健全度} = (\text{部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分}) \div 60$$

○部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

○部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
合計	60

■評価基準(外壁防水)

評価 仕様	A	B	C	D
アスファルト 保護防水	 良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	 部分的に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷がある	 広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、土砂の堆積、雑草、目地シーリングの損傷がみられ、最上階天井に漏水痕がある	 広範囲に、損傷、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある
アスファルト 露出防水	 良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	 部分的に、ふくれ、変質(摩耗)、排水不良がある	 広範囲に、ひび割れ、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草がみられ、最上階天井に漏水痕がある	 広範囲に、破断、損壊、下地露出、幅広のひび割れがあり、最上階天井に漏水が複数箇所ある
塗膜防水	 良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	 部分的に、ふくれ、しわ、変質(スポンジ状)、排水不良がある	 広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草がみられ、最上階天井に漏水痕がある	 広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある
塗り 仕上げ	 良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	 部分的に、ひび割れ、変質、浮き、さび汁がある	 広範囲に、ひび割れ、亀甲状のひび割れ、変質、浮き、剥がれ、さび汁があり、小規模な漏水がある	 広範囲に、剥落、爆裂、幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある
タイル張り 石張り	 良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	 部分的に、ひび割れ、変質、浮き、はらみ、さび汁、シーリング材のひびがある	 広範囲に、ひび割れ、変質、浮き、はらみ、さび汁、シーリング材のひびがあり、小規模な漏水がある	 広範囲に、剥落、爆裂、幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある
窓 (サッシ)	 良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	 部分的に、変形、変質、シーリング材の硬化がある	 全体的に、変形、変質、さび、シーリング材の硬化、ひび割れが見られる	 全体的に腐食、損壊、開閉不良があり、漏水がある

■評価基準の例

	該当する部分	C評価またはD評価となる例
内部 仕上	○床、壁、天井 ○内部開口部 （扉、窓、防火戸） ○室内表示、手すり、固定 家具等 ○照明器具、衛生器具、冷 暖房器具	○内部仕上と設備機械について、該当建物の概ね半分以上の部屋（床面積）にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 （評価の対象外となる改修工事の例） ・特定の教室のみの改修 ・天井張替え、壁の塗り替え、照明器具交換等、部位機械のみの改修工事 ・広範囲（25%以上の面積）または随所（5か所以上に劣化事象がみられる場合は、評価を一段下げることを目安とする。 （評価例） 床仕上の劣化 床のひび割れ 天井材の落下・剥がれ 
電気 設備	○建物内の分電盤・配線・配管 （電灯・コンセント設備） （弱电設備） 受変電設備、自家発電設備、幹線設備は、学校施設の共用設備のため対象外とする。	○建物内の分電盤・配線・配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋（床面積）にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 （評価の対象外となる改修工事の例） ・受変電設備等の更新 ・防災設備、放送設備等、単独設備の更新 （評価例） ・一部の室の改修（整備）はしているが、他の部分は40年以上経過している場合は、C評価
機械 設備	○建物内の給水配管・給湯配管・排水配管・ガス配管 受水槽、高置水槽、浄水器、各種ポンプ、屋外配管は、共用設備のため対象外とする。	○建物内の給水配管・給湯配管・排水配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋（床面積）にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 （評価の対象外となる改修工事の例） ・部分的な修繕等 （評価例） ・給排水配管を一度も更新せず、40年以上経過している場合は、C評価

(ウ)健全度の評価結果

 : 築50年以上
 : 築30年以上
 A : 概ね良好
 B : 部分的に劣化
 C : 広範囲に劣化
 D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報										構造躯体の健全化						劣化状況評価					
通し 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階 数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全 度 (100 点) 満点
							西暦	和 暦		基準年	基準	診 断	補 強	調 査 年 度	圧縮 強度 (N/ ㎡)						
							2024														
1	武豊小学校	南校舎1	013-1	RC	3	2,300	1973	S48	51	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	B	D	C	C	C	34
2	武豊小学校	南校舎2	013-2	RC	3	1,248	1974	S49	50	旧	済	済	H21	16.2	長寿命	B	D	C	C	C	34
3	武豊小学校	渡り廊下 (南校舎3)	013-3	RC	1	30	1991	H3	33	新	済	済	H21	17.6	長寿命	C	C	B	B	B	62
4	武豊小学校	渡り廊下 (南校舎4)	013-4	S	1	20	1992	H4	32	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
5	武豊小学校	西校舎1	015-1	RC	2	760	1974	S49	50	旧	済	-	H12	17.6	長寿命	A	A	C	C	C	62
6	武豊小学校	西校舎2	015-2	RC	2	335	1974	S49	50	旧	済	-	H12	17.6	長寿命	A	A	C	C	C	62
7	武豊小学校	昇降口	016-1	RC	1	122	1974	S49	50	旧	済	-	H12	17.6	長寿命	D	D	C	C	C	29
8	武豊小学校	渡り廊下	016-2	RC	1	6	1991	H3	33	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
9	武豊小学校	屋内運動場	17	RC	2	1,129	1979	S54	45	旧	済	-	H12	20.6	長寿命	A	A	C	C	C	62
10	武豊小学校	便所	18	RC	1	30	1979	S54	45	旧	済	-	H12	20.6	長寿命	A	A	C	C	C	62
11	武豊小学校	北校舎1	026-1	RC	3	3,142	2007	H19	17	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	90
12	武豊小学校	北校舎2	026-2	RC	3	1,260	2007	H19	17	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	90
13	衣浦小学校	北校舎1	001-1	RC	3	2,375	1970	S45	54	旧	済	済	H19	17.6	長寿命	A	D	C	C	C	37
14	衣浦小学校	北校舎2	001-2	RC	3	670	1970	S45	54	旧	済	済	H19	17.6	長寿命	A	D	C	C	C	37
15	衣浦小学校	北校舎3	001-3	RC	3	547	1973	S48	51	旧	済	済	H19	17.6	長寿命	A	D	C	C	C	37
16	衣浦小学校	南校舎	2	RC	3	2,747	1970	S45	54	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	D	D	C	C	C	29
17	衣浦小学校	昇降口渡り(西)	3	RC	2	187	1970	S45	54	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	C	D	C	C	C	32
18	衣浦小学校	昇降口渡り(東)	4	RC	2	159	1970	S45	54	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	C	D	C	C	C	32
19	衣浦小学校	屋内運動場	6	RC	2	1,006	1971	S46	53	旧	済	済	H15	18	長寿命	B	C	C	C	C	43
20	衣浦小学校	便所・倉庫	7	S	1	35	1971	S46	53	旧	済	-	H15	18	長寿命	D	D	C	C	C	29
21	衣浦小学校	特別教室棟	11	RC	2	642	1986	S61	38	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
22	富貴小学校	普通教室棟	014-1	RC	3	1,023	1972	S47	52	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	C	B	C	C	C	50
23	富貴小学校	配膳室1	014-2	RC	3	96	1973	S48	51	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	C	C	C	C	C	40
24	富貴小学校	管理特別普通棟	014-3	RC	3	1,369	1973	S48	51	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	C	C	C	C	C	40
25	富貴小学校	配膳室2	014-4	S	1	20	1986	S61	38	新	済	済	H21	17.6	長寿命	C	B	B	B	B	72
26	富貴小学校	便所	014-5	RC	1	25	1973	S48	51	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	C	B	C	C	C	50
27	富貴小学校	プレイルーム	014-6	RC	2	368	1976	S51	48	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	B	B	C	C	C	53
28	富貴小学校	特別教室棟	18	RC	3	1,477	1976	S51	48	旧	済	済	H21	18.7	長寿命	C	C	C	C	C	40
29	富貴小学校	普通特別教室棟	20	RC	3	1,595	2004	H16	20	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
30	富貴小学校	屋内運動場	21	RC	1	1,144	2012	H24	12	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93
31	富貴小学校	倉庫1	22	S	1	9	2012	H24	12	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
32	富貴小学校	倉庫2	23	S	1	32	2012	H24	12	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100

: 築50年以上
 : 築30年以上
 A : 概ね良好
 C : 広範囲に劣化
 B : 部分的に劣化
 D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報										構造躯体の健全化						劣化状況評価						
通し 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階 数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100 点) 満点	
							西暦	和暦		基準年	基 準	診 断	補 強	調 査 年 度	圧縮 強度 (N/ ㎡)						試算上 の区分	
									2024													
33	緑丘小学校	普通教室・ 管理棟 1	001-1	RC	2	2,971	1979	S54	45	旧	済	済	H21	20.6	長寿命	C	B	C	C	C	50	
34	緑丘小学校	普通特別教室棟	001-2	RC	4	3,388	1979	S54	45	旧	済	済	H21	20.6	長寿命	C	C	C	C	C	40	
35	緑丘小学校	普通教室・ 管理棟 2	001-4	S	1	16	2001	H13	23	新	済	済	H21	20.6	長寿命	B	A	B	B	B	82	
36	緑丘小学校	屋内運動場	3	RC	2	1,151	1980	S55	44	旧	済	-	H21	20.6	長寿命	A	B	B	B	B	77	
37	緑丘小学校	渡り廊下 1	004-1	RC	2	70	1980	S55	44	旧	済	-	H21	20.6	長寿命	B	C	B	B	B	65	
38	緑丘小学校	渡り廊下 2	004-2	RC	2	38	1983	S58	41	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
39	緑丘小学校	特別支援学級棟	7	S	1	41	2008	H20	16	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
40	緑丘小学校	普通教室棟 1	008-1	RC	2	497	2011	H23	13	新	-	-	-	-	長寿命	B	A	A	A	A	98	
41	緑丘小学校	普通教室棟 2	008-2	RC	2	2	2011	H23	13	新	-	-	-	-	長寿命	B	A	A	A	A	98	
42	緑丘小学校	普通教室棟 3	008-3	RC	2	14	2011	H23	13	新	-	-	-	-	長寿命	B	A	A	A	A	98	
43	武豊中学校	北棟 1	012-1	RC	3	817	1981	S56	43	旧	済	-	H21	20.5	長寿命	B	B	B	B	B	75	
44	武豊中学校	北棟 2	012-2	RC	3	1,351	1981	S56	43	旧	済	-	H21	20.5	長寿命	B	B	B	B	B	75	
45	武豊中学校	渡り廊下 1	013-1	RC	2	105	1981	S56	43	旧	済	-	H21	20.6	長寿命	B	B	B	B	B	75	
46	武豊中学校	渡り廊下 2	013-5	S	2	54	1991	H3	33	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
47	武豊中学校	屋内運動場	15	RC	2	1,871	1982	S57	42	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
48	武豊中学校	武道場	16	RC	2	812	1982	S57	42	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	
49	武豊中学校	管理A棟	24	RC	3	2,372	2011	H23	13	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
50	武豊中学校	管理B棟	25	RC	3	984	2011	H23	13	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
51	武豊中学校	南棟	26	RC	2	1,289	2011	H23	13	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
52	武豊中学校	中央棟	27	RC	3	1,913	2011	H23	13	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
53	武豊中学校	技術科棟	28	RC	1	221	2011	H23	13	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
54	富貴中学校	北東館 1	008-1	RC	3	1,444	1972	S47	52	旧	済	済	H21	20.6	長寿命	B	C	C	C	C	43	
55	富貴中学校	北東館 2	008-2	RC	3	516	1972	S47	52	旧	済	済	H21	20.6	長寿命	C	C	C	C	C	40	
56	富貴中学校	北東館 3	008-3	RC	3	6	1983	S58	41	新	済	済	H21	20.6	長寿命	B	C	B	B	B	65	
57	富貴中学校	渡り廊下	10	RC	2	28	1972	S47	52	旧	済	済	H22	20.6	長寿命	B	C	C	C	C	43	
58	富貴中学校	南館	011-1	RC	3	3,785	1972	S47	52	旧	済	済	H22	20.2	長寿命	B	D	C	C	C	34	
59	富貴中学校	屋内運動場	12	RC	2	1,130	1972	S47	52	旧	済	済	H16	20	長寿命	B	C	C	C	C	43	
60	富貴中学校	便所	14	S	2	18	1981	S56	43	旧	済	済	H22	20.2	長寿命	B	B	B	B	B	75	
61	富貴中学校	北西棟 1	015-1	RC	3	1,192	1983	S58	41	新	-	-	-	-	長寿命	D	D	B	B	B	51	
62	富貴中学校	北西棟 2	015-2	RC	1	432	1983	S58	41	新	-	-	-	-	長寿命	D	D	B	B	B	51	
63	富貴中学校	武道場	16	RC	2	787	1983	S58	41	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62	
64	富貴中学校	木工室	17	RC	1	172	1984	S59	40	新	-	-	-	-	長寿命	D	D	B	B	B	51	
65	富貴中学校	倉庫	19	S	1	49	1988	S63	36	新	-	-	-	-	長寿命	C	D	C	C	C	31	

(工)劣化状況の評価結果

■C評価（※一部抜粋）

通し 番号	施設名	建物名	評価結果	
			屋根・屋上	外壁
21	衣浦小学校	特別教室棟 (築 33 年)	 部分的に劣化が見られる。	 塗装が剥がれている箇所がある。
24	富貴小学校	管理特別 普通棟 (築 51 年)	 防水層に膨れ、破れ等がある。 笠木・立上り等に損傷がある。	 外部手すり等に錆があり、腐朽 している。
28		特別教室棟 (築 48 年)	 防水層に膨れ、破れ等がある。	 大きな亀裂がある。 塗装が剥がれている箇所がある。
34	緑丘小学校	普通 特別教室棟 (築 45 年)	 防水層に膨れ・破れ等がある。 屋根葺材に錆・損傷がある。	 塗装が剥がれている箇所があ る。 大きな亀裂がある。

■ D評価（※一部抜粋）

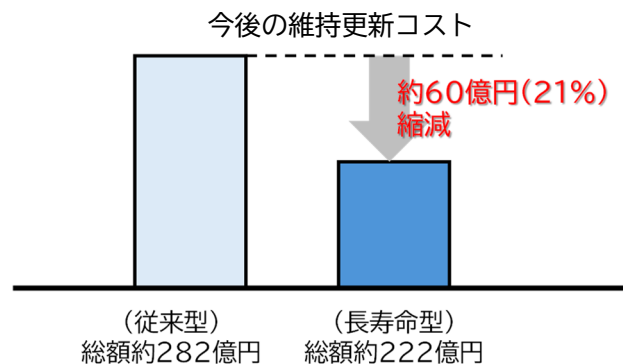
通し 番号	施設名	建物名	評価結果	
			屋根・屋上	外壁
7	武豊小学校	昇降口 (築 50 年)	 広範囲で劣化が見られる。	 大きな亀裂がある。 塗装が剥がれている箇所がある。 柱に錆が発生している。
16	衣浦小学校	南校舎 (築 54 年)	 防水層に膨れ・破れ等がある。 笠木・立上り等に損傷がある。	 鉄筋が見えている箇所がある。 塗装が剥がれている箇所がある。
61	富貴中学校	北西棟 1 (築 41 年)	 防水層に膨れ、破れ等がある。 笠木・立上り等に損傷がある。	 鉄筋が見えているところがある。 外壁に酷い汚れがある。

(3) 今後の維持・更新コストの把握(長寿命化型)

建替え中心から改修による長寿命化に切り替えていくためには、計画的に機能向上と機能回復に向けた修繕・改修を建物全体でまとめて実施する必要があります。

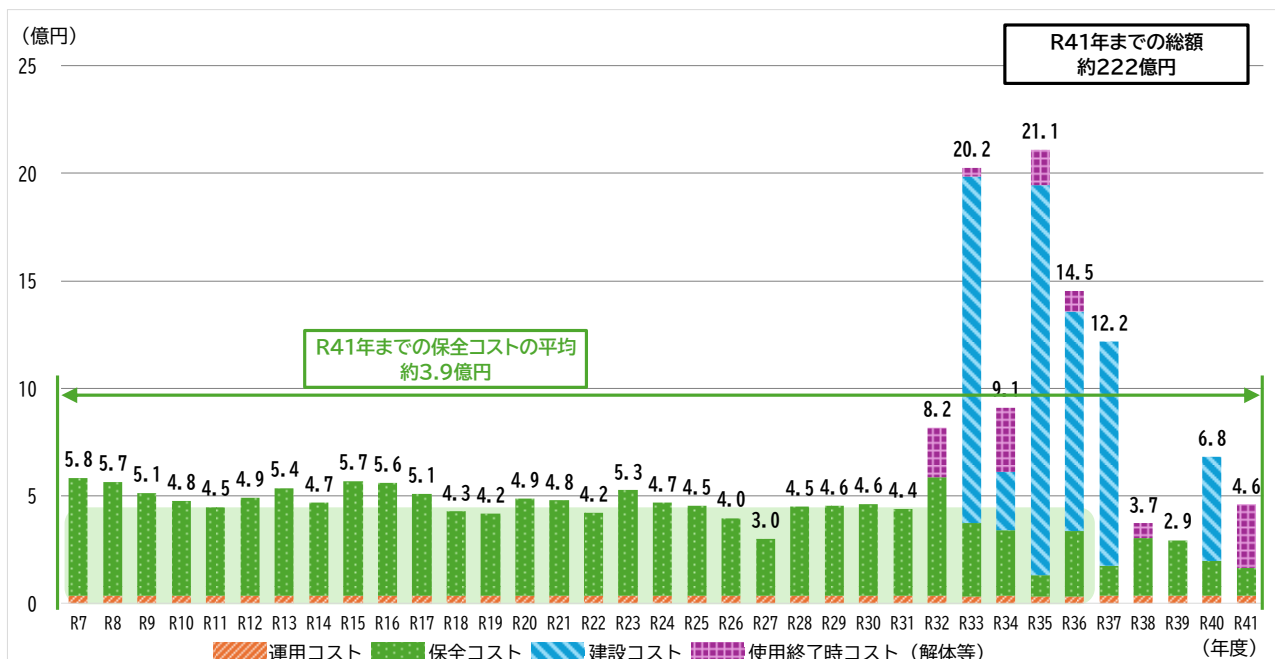
長寿命化改修により建物の目標使用年数を 80 年に向上させた場合、今後の維持・更新コストは総額約 222 億円となります。これは、令和 2 年度時点で試算した今後の維持・更新コストの総額約 193 億円（約 4.8 億円/年）の約 1.2 倍となっていますが、昨今の工事費や資材価格の高騰による影響と考えられます。

令和 2 年度時点で試算した従来の建替え中心の場合の今後の維持・更新コストについても、工事費や資材価格等の高騰を加味して 1.2 倍すると総額は約 282 億円となり、長寿命化に切り替えることで総額約 60 億円（約 21.3%）の縮減となります。



ただし、令和 7 年度以降 1 年あたり約 3.9 億円の保全コスト（長寿命化改修等）がかかることや、令和 32 年度より目標使用年数に達した建物の建替え費用が発生してくるため、積立等を計画的に行う必要があります。

図表 今後の維持・更新コストの試算結果（長寿命化型）



資料：令和 5 年版建築物のライフサイクルコスト（（一財）建築保全センター）の試算ソフトを用いて算出

※保全コストには、長寿命化改修の他、維持修繕等も含めて試算します。

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

1. 学校施設の規模・配置計画等の方針

(1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

公共施設等 総合管理計画 の基本方針	2-1 基本的な方針 (1) 基本理念 最適な施設配置と長寿命化による持続性ある公共施設サービスの実現 (2) 目指す姿 ◆現世代への安全・安心な公共施設サービスの確保 保有する公共施設等を適正に管理・更新することで、町民にとって、安全・安心な公共施設サービスの提供を目指します。 ◆将来世代への過大な負担の解消 将来世代へ引き継ぐべき公共施設機能を選定するとともに、今後発生が見込まれる修繕・更新費を抑えとともに、支出時期を平準化することによって、将来の過大な負担を解消することを目指します。 ◆公共施設サービス水準の低下の回避 公共施設の修繕・更新費の抑制をはかりつつ、町民ニーズの変化に対応しながら、公共施設サービスの低下を回避するよう適正な質・量のサービスの提供を目指します。 2-2 実施方針 (1) 維持管理・更新等の実施方針 ○建築物系施設 ・長寿命化に資する大規模修繕を計画的に実施します。実施時期は建物の目標使用年数の中間時にあたる築40年を目処とし、個々の建物の劣化状況を考慮して対応します。 ・大規模修繕の実施前に建物の利用継続の可否、管理対象となる規模、施設の複合化や統合の可能性について検証します。 ・長寿命化を施すことが有効でないなどと判断される場合、建替えを選択肢としますが、規模の適正化等を検証することを前提とします。
公共施設等 総合管理計画 の施設分類ご との管理に関 する基本的な 方針 【学校系施設】	・「武豊町学校施設長寿命化計画」にそって、計画的に事業を進めていきます。 ・各施設で老朽化が進んでおり、施設管理費が大きくなっています。将来多額の更新費が必要となることが見込まれます。 ・床面積1㎡当たりの負担額は比較的小さく、効率的な施設管理が行われており、老朽化の程度と児童・生徒の安全確保を念頭に置くと、施設管理費を縮減することは難しいと判断されます。 ・児童・生徒数は減少傾向にあるため、老朽化状況等を踏まえた上で、効率的な整備（建替え、改修）について検討していきます。 ・現状の配置・規模を維持した上での負担額の縮減は難しいことから、建築年数などを考慮し、長寿命化を図るとともに、空き教室の活用・校舎の縮小（減築）を進めていきます。



公共施設等総合管理計画の基本方針を踏まえ、学校施設の長寿命化の基本方針を以下のように定めます。

基本方針1 長寿命化の実施及び計画的な予防保全

建物の劣化が進んでいる施設から順に、長寿命化に資する修繕等を進めるとともに、ライフサイクルコストの縮減を目指し、計画的な予防保全に努めます。

基本方針2 適切な学習環境の維持と向上

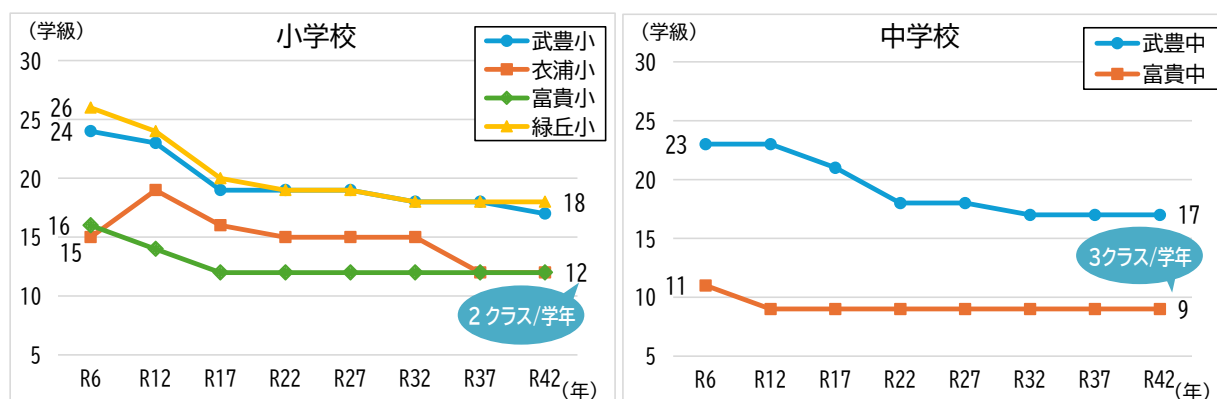
トイレの洋式化、施設全体のユニバーサルデザイン化等、快適に利用しやすい施設整備を進めるとともに、多様化する新しい時代の学びを実現する施設整備についても検討します。

また、省エネルギー機器の導入等を検討し、学校施設の機能向上を図るとともに、運営経費の縮減に努めます。

基本方針3 施設規模の適正化

将来の学校ごとの学級数の推計から少ない場合でも1クラスとなるケースはなく、小学校区がコミュニティの単位となっていることから現計画期間においては学校の統廃合は見込まないものとします。なお、今後の児童生徒数の動向を踏まえ、将来的には減築や学校施設の集約化及び屋内運動施設や教室等の共同利用の可能性を検討します。

図表 学級数の推計



(※社人研準拠の推計値が最も減少する場合)

(2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

①減築の検討

今後の児童生徒数の減少を見据え、学校施設の長寿命化を行う際に、併せて減築することを検討します。

②学校施設の集約化・共同利用の可能性について検討

今後の児童生徒数の減少を見据え、学校施設の建替えを行う際に、小中学校を同一敷地内に集約することや稼働状況を踏まえて屋内運動施設や教室等の共同利用の可能性について検討します。

2. 改修等の基本的な方針

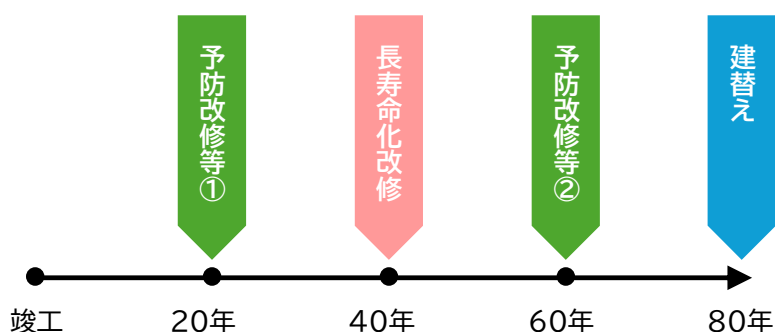
(1) 長寿命化の方針

調査したすべての建物において、耐震性は問題なく長寿命化が可能となっています。従って、従来の建替え中心の整備から改修による建物の長寿命化に切り替えて整備を行います。改修を行う際には、更新周期の長い設備等を採用します。

(2) 目標使用年数、改修周期の設定

築 20 年を目途に 1 回目の予防改修等、築 40 年を目途に長寿命化改修、築 60 年を目途に 2 回目の予防改修等を実施する改修周期を基本として、使用年数 80 年を目標とする長寿命化型の整備を目指します。

図表 基本的な改修周期（長寿命化型）



ただし、本町の学校施設は令和 6（2024）年度時点で、築 40 年以上の施設が保有面積で全体の約 72%を占めています。これらの施設は既に長寿命化改修が必要な時期に差し掛かっていることになり、早急に長寿命化改修を実施する必要がありますが、上図に示すような理想的な改修周期に合わせようとすると短期間に改修工事が集中してしまいます。

このように、改修工事が集中してしまう時期については、実施可能な事業量に平準化できるよう計画的に改修時期を検討します。

(3) その他、個別課題への対応

本町における学校施設の現状としては一部の改築した建物を除いて築 40 年以上の施設が半数以上となっています。外部に関しては大規模改修を行っていない施設は劣化が著しく、雨漏り等問題が生じています。

また、内部に関してはトイレ等一部分を除き未改修の部位やバリアフリー化へ未対応である箇所が存在しているとともに、近年では「新しい時代の学びを実現する学校施設」（文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告【概要】令和 4 年 3 月）の整備が求められているため、今後、長寿命化改修や大規模改修を実施する際にこれら課題への対応を検討する必要があります。

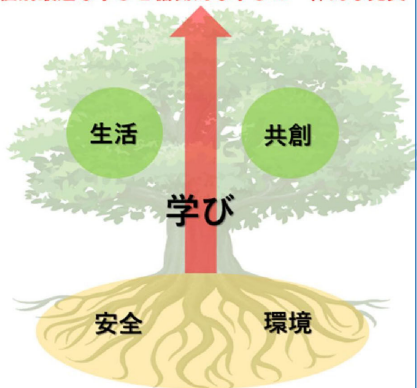
○コラム「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告【概要】(文科省)

文部科学省から、1人1台端末環境のもと、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実等に向け、新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方及び推進方策について報告書が令和4年3月に公表されました。

新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方（5つの姿の方向性）

【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】

全ての子どもたちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



新しい時代の学び舎として目指していく姿

「未来思考」をもった上で、「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けて、**これからの新しい時代の学び舎として目指していく姿**を示す。

新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮するものとして、その中心となる「幹」に『**学び**』を据え、その学びを豊かにしていく「枝」として『**生活**』『**共創**』の空間を実現する。

また、新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進していく「根」として『**安全**』『**環境**』の確保を実現する。

学び

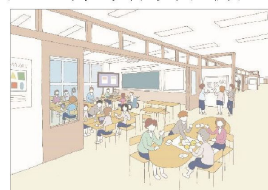
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、**柔軟で創造的な学習空間を実現**

- ⇒ 1人1台端末環境等に対応した机を配置し、多様な学習を展開できる教室環境の整備
- ⇒ 個別学習や少人数学習など柔軟に対応できる多目的スペース、学習支援、教育相談等の環境整備
- ⇒ 教職員のコミュニケーション・リフレッシュの場（ラウンジ）、映像編集空間（スタジオ）の整備

（教室・教室周辺の空間の改善・充実に関する創意工夫の例）



1人1台端末環境等に対応したゆとり
のある教室の整備



多目的スペースの活用による多様な
学習活動への柔軟な対応



ロッカースペース等の配置の工夫等
による教室空間の有効活用

生活

新しい生活様式を踏まえ、**健やかな学習・生活空間を実現**

- ⇒ 居場所となる温かみのあるリビング空間（小教室・コーナー、室内への木材利用）
- ⇒ 空調設備の整備、トイレの洋式化・乾式化、手洗い設備の非接触化

共創

地域や社会と連携・協働し、**ともに創造する共創空間を実現**

- ⇒ 地域の人たちと連携・協働していく活動・交流拠点として「共創空間」を創出
- ⇒ 地域の実情等に応じた他の公共施設等との複合化・共用化等

【新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進】

安全

子どもたちの生命を守り抜く、**安全・安心な教育環境を実現**

- ⇒ 老朽化対策等により、安全・安心な教育環境を確保
- ⇒ 避難所として自家発電・情報通信設備、バリアフリー、水害対策等の防災機能を強化

環境

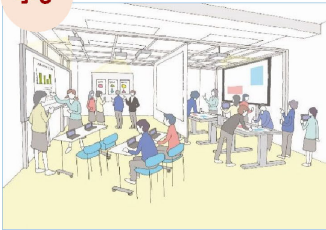
脱炭素社会の実現に貢献する、**持続可能な教育環境を実現**

- ⇒ 屋根や外壁の高断熱化や高効率照明などの省エネルギー化、太陽光発電設備の導入の促進により、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を推進
- ⇒ 環境や地域との共生の観点から学校における木材利用（木造化、室内利用）を推進

新しい時代の学びを実現する空間イメージ例（未来思考の視点を含む）

これからの学校施設は、新しい時代の学びを実現していくことを基本とし、それらを具体化する施設環境を創造していく

学び



単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な学びに対応できるよう、創造的な空間に転換していく姿

学び



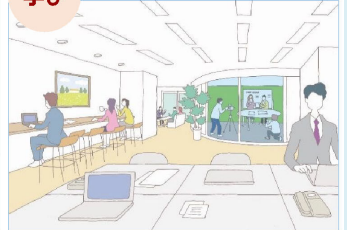
学校図書館とコンピュータ教室と組み合わせて読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニング・コモンズ」としていく姿

学び



教室と連続する空間も活用し、高機能のコンピュータ室を専門的で高度な学びを誘発する「デザインラボ」としていく姿

学び



映像編集やオンライン会議のためのスタジオ、情報交換や休息ができるラウンジなど、円滑に業務を行える執務空間としていく姿

生活



木材を活用し温かみのあるリビングのような空間の中で、壁面の工夫やベンチ等を配置し、豊かな学び・生活の場としていく姿

共創



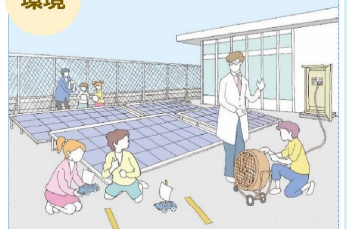
地域コミュニティの拠点として、地域や社会の人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動が展開できる共創空間としていく姿

安全



長く使い続けることができるように安全性を確保し、子供たちの学び・生活の場、地域のコミュニティの拠点としていく姿

環境



省エネルギー化や再生可能エネルギーを導入等を積極的に進め、環境教育での活用や地域の先導的役割を果たしていく姿

（出典）「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告【概要】（文科省）

第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

1. 改修等の整備水準

長寿命化において配慮すべき性能に対して、下表のとおり各部位の整備レベルを設定し、費用対効果を考慮して、最適な仕様を採用します。

屋根・屋上及び外壁については、安全性・耐用性を備えた部材・工法を採用します。

部位		改修メニュー(整備レベル)	
		現状の整備レベル	長寿命化改修
外部仕上げ	開口部	サッシ廻り・ 硝子シーリング	サッシ廻り・ 硝子シーリング
	内装仕上げ	既設のまま (事後保全とする)	内装材の全面更新
内部仕上げ	便所	既設のまま (事後保全とする)	内装材の全面更新・ ドライ化 節水型便器に更新
	動力・電灯・ コンセント設備	既設のまま (事後保全とする)	動力設備の全面更新 (全施設更新済み) LED 照明器具への更新
電気設備	防災・弱電設備	既設のまま (事後保全とする)	防災・弱電設備の 全面更新
	給排水設備	既設のまま (事後保全とする)	給排水設備の全面更新
機械設備	空調設備	既設のまま (事後保全とする)	空調設備の設置(普通教室等一部設置済) 換気設備の更新

2. 維持管理の項目・手法等

本計画の見直しにあわせて、チェックシート（次頁参照）を用いて定期的に劣化状況調査を実施します。

屋上防水、外壁については不具合の見つかった時点で部位修繕を実施します。また、内装仕上げ、電気設備、機械設備に関しても、学校生活に支障をきたす部位に関しては直ちに修繕を行います。

■チェックシート

通し番号			
調査日	令和 年 月 日 ()	記入者	
学校名	学校番号		
建物名	棟番号		
構造種別	建築年度	年度 (昭和・平成 年度)	
延床面積	m	階数	地上 階、地下 階

部位	仕様	工事履歴 (部位の更新) 年度 工事内容	劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
1. 屋根屋上	☐ アスファルト保護防水		☐ 降雨時に雨漏りがある			
	☐ アスファルト露出防水		☐ 天井等に雨漏り痕がある			
	☐ シート防水、塗膜防水		☐ 防水層に膨れ、破れ等がある			
	☐ 勾配屋根 (長尺金属板、折板)		☐ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	☐ 勾配屋根 (スレート、瓦類)		☐ 笠木・立上り等に損傷がある			
	☐ その他の屋根 ()		☐ 樋やルーフトレンを目視点検できない			
2. 外壁	☐ 塗仕上げ		☐ 鉄筋が見えているところがある			
	☐ タイル張り、石張り		☐ 外壁から漏水がある			
	☐ 金属系パネル		☐ 塗装の剥がれ			
	☐ コンクリート系パネル (ALC等)		☐ タイルや石が剥がれている			
	☐ その他の外壁 ()		☐ 大きな亀裂がある			
	☐ アルミ製サッシ		☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	☐ 鋼製サッシ		☐ 窓・ドアのに錆・腐食・変形がある			
	☐ 断熱サッシ、省エネガラス		☐ 外部手すり等の錆・腐朽			
		☐ 既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項 (改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3. 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切り等) (照明器具) (エアコン) 等	☐ 老朽改修			
	☐ エコ改修			
	☐ トイレ改修			
	☐ 法令適合			
	☐ 校内LAN			
	☐ 空調設置			
	☐ 障害児等対策			
	☐ 防犯対策			
	☐ 構造体の耐震対策			
	☐ 非構造部材の耐震対策			
	☐ その他、内部改修工事			
4. 電気設備	☐ 分電盤改修			
	☐ 配線等の敷設工事			
	☐ 昇降設備保守点検			
	☐ その他、電気設備改修工事			
5. 機械設備	☐ 給水配管改修			
	☐ 排水配管改修			
	☐ 消防設備の点検			
	☐ その他、機械設備改修工事			

特記事項 (改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度

 /100点

第6章 長寿命化の実施計画

1. 改修等の優先順位付けと実施計画

(1) 改修等の優先順位付け

D評価の部位については、屋上・屋根改修、外壁改修を優先して今後3年間で解消します。D評価部位の解消後に4億円前後の予算で設定し、施工年度の古い建物順に長寿命化を図る改修を行っていきます。

整備内容		
①部位改修 早急な対応が必要 な改修 (D評価)	躯体への影響を優先 屋根・屋上改修 外壁改修	D評価部位を3年間で解消 屋根・屋上改修 外壁改修 のうち緊急性の高いものから実施
②長寿命化改修 長寿命化への対応 (C評価等)	屋根・屋上改修 外壁改修 内部仕上改修 電気・機械改修	C評価等の部位については、D評価部位 の解消後、年間4億円前後の予算で設定 竣工年度の古い建物から順に改修

(2) 実施計画(今後3年間)

D評価以外の部位については、早急な実施が必要となる防水や設備の改修を優先して実施します。なお、実施計画は、毎年度向こう3か年度の計画を作成し、具現化していくこととします。

図表 実施計画(今後3年間)

(百万円)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	学校名(事業費)	学校名(事業費)	学校名(事業費)
①部位改修 ※上表「①部位改修」に該当	武豊小(48.8) 衣浦小(52.0) 緑丘小(4.9)	武豊小(0.7) 衣浦小(30.1) 富貴小(3.2) 緑丘小(1.7)	武豊小(11.6) 衣浦小(30.1) 富貴小(39.6) 緑丘小(19.4)
②長寿命化改修 ※上表「②長寿命化改修」に該当	武豊小(1.9) 衣浦小(56.1) 緑丘小(28.7)	武豊小(72.4) 衣浦小(43.4) 富貴小(48.4) 緑丘小(1.9)	武豊小(59.2) 富貴小(7.5) 緑丘小(12.7)
その他(解体、遊具改修等)	富貴小(45.0) 緑丘小(25.9)	緑丘小(87.7)	富貴小(4.0)
合計※	269.2	362.3	184.1

※維持修繕費や光熱水費・委託費は毎年度、別途加算する。

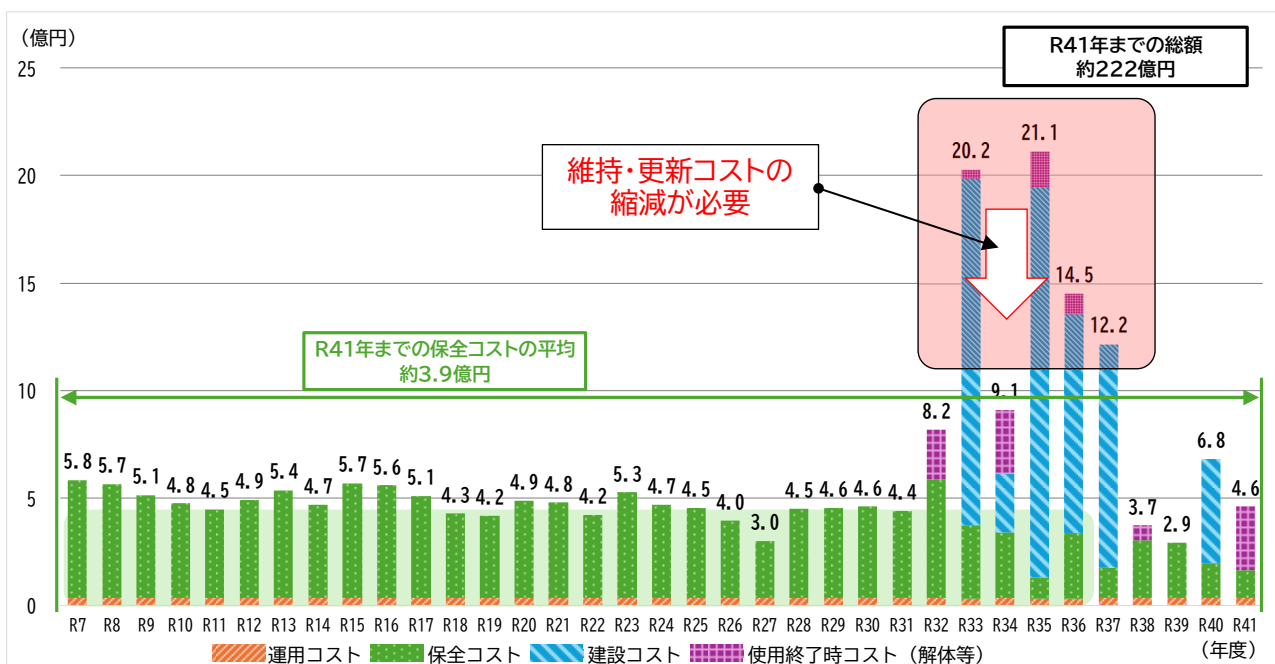
2. 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

40年間の計画は今後3年間を実施計画に基づいて行い、令和10(2028)年度から令和31(2049)年度までは約4億円の予算で長寿命化改修を行っていきます。

令和32(2050)年度以降は、築80年が経過する学校施設が出てくることから改築を行っていく必要があり、1年間で最大約21億円程度のコストが必要となることが見込まれており、建設コストの削減及び平準化を図ることが課題となります。

建替えの際には、将来の児童生徒数の推計を元に、適切な施設規模を想定するとともに、学校施設の集約化や屋内運動場や教室等の共同利用の可能性について検討し、学校施設にかかるコストをできるだけ縮減していくことが必要です。

図表 今後の維持・更新コストの試算結果（長寿命化型）



資料：令和5年版建築物のライフサイクルコスト（（一財）建築保全センター）の試算ソフトを用いて算出

※保全コストには、長寿命化改修の他、維持修繕等も含めて試算します。

第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

1. 情報基盤の整備と活用

施設台帳等を活用して、今後、施設の基本情報、工事履歴や劣化情報を一元管理します。本計画の定期的な見直しの際に実施する劣化状況調査の工事履歴や劣化状況調査のデータを活用します。

2. 推進体制等の整備

学校施設の所管課である教育委員会学校教育課を中心に本計画を含む学校施設のマネジメントを行います。必要に応じて民間事業者への委託を行い、対応を図ります。

3. フォローアップ

本計画は、学校施設の改修や建替えの優先順位を設定するものであり、必要に応じて年次及び個別の事業費を精査する必要があります。また、事業の進捗状況、劣化調査等の結果や財政状況を反映して本計画は見直しを図るものとします。

武豊町学校施設長寿命化計画（改定）
令和7（2025）年3月

発行 武豊町教育委員会

編集 学校教育課

〒470-2392

愛知県知多郡武豊町字長尾山2番地

電話：0569-72-1111